

注3

大学番号：私130

[平成27年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

届出

横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人横浜商科大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学生総合センター 教務課

職名・氏名 ティームリーダー ナルシマ ツトム
鳴島 努

電話番号 045-583-9062

（夜間） 045-583-9062

F A X 045-571-4125

e-mail g_kyomu@shodai.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

商学部

＜観光マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人横浜商科大学

(2) 大 学 名

横浜商科大学

(3) 大学の位置

〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オオムラ タツヤ) 大村 達彌 (平成24年4月)		
学 長	(シバタ ゴイチ) 柴田 悟一 (平成23年7月)	(コバヤシ マサト) 小林 雅人 (平成27年7月)	任期満了のため(28)
学 部 長	(イトウ ユタカ) 伊藤 穰 (平成23年10月)	(ハダ コウジ) 羽田 耕治 (平成27年10月)	任期満了のため(28)
学科長等	(ハダ コウジ) 羽田 耕治 (平成27年4月)	(サツサ トオル) 佐々 徹 (平成27年4月)	平成27年4月1日 学科主任にかえて、各学科に学科長を置く変更を行ったため(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
商学部 観光マネジメント学科 学士(商学)	経済学関係	4 年	70 人	3 年次 4 人	288 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70人 (-) [-]	人	70人 (-) [-]	人	70人 (4) [-]	人	人	人	1.21倍	
志願者数	110 (-) [3]	(-) [-]	125 (-) [8]	(-) [-]	147 (4) [15]	(-) [-]	() []	() []		
受験者数	108 (-) [3]	(-) [-]	123 (-) [8]	(-) [-]	139 (3) [15]	(-) [-]	() []	() []		
合格者数	98 (-) [2]	(-) [-]	118 (-) [7]	(-) [-]	114 (3) [9]	(-) [-]	() []	() []		
B 入学者数	79 (-) [2]	(-) [-]	85 (-) [6]	(-) [-]	92 (3) [8]	(-) [-]	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.12		1.21		1.31					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	79	—	85	—	94	—				
	[2]	[—]	[6]	[—]	[9]	[—]	[]	[]		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)				
2 年次			75	—	76	—				
			[2]	[—]	[5]	[—]	[]	[]		
			(—)	(—)	(2)	(—)	()	()		
3 年次					68	—				
					[3]	[—]	[]	[]		
					(—)	(—)	()	()		
4 年次							[]	[]		
							()	()		
計	79		160		238					
	[2]		[8]		[17]		[]			
	(—)		(—)		(4)		()			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	79 人	8 人	平成27年度	4 人	0 人	進路変更(他大学・専門学校)(3人)、進路変更(就職)(1人)	10.12 %
			平成28年度	4 人	0 人	進路変更(就職)(2人)、除籍(2人)	
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	85 人	10 人	平成28年度	10 人	1 人	経済的理由(3人)、進路変更(他大学・専門学校)(3人)、進路変更(就職)(2人)、勉学意欲喪失(1人)、除籍(1人)	11.76 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	92 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	256 人	18 人					7.03 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<商学部 観光マネジメント学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必	修	選 択 自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
社会人基礎力プログラム	社会力基礎演習Ⅰ-1	1前	2			1 2	4 3 1	3			兼8 兼7 兼4 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 平成26年10月に山崎大介准教授(専任)退職のため、後任の竹田育広准教授を加えて社会人基礎力プログラム担当者間で調整を行った結果、担当者を変更(27)
	社会力基礎演習Ⅱ-2	1後	2			1 2	4 3 1	3			兼8 兼7 兼4 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 平成26年10月に山崎大介准教授(専任)退職のため、後任の竹田育広准教授を加えて社会人基礎力プログラム担当者間で調整を行った結果、担当者を変更(27)
	社会力基礎演習Ⅲ-3	2前	2			1 2	2	1 3			兼6 兼5 兼4 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	社会力基礎演習Ⅳ-4	2後	2			1 2	2	1 3			兼6 兼5 兼4 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	キャリアデザインⅠ形成1	1前		2			2 1	1 3			兼8 兼7 兼3 兼6 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27) 1年次配当の「キャリア形成1・2」については「社会力基礎演習1・2」と連動させるほうが教育効果が高いという判断から担当者を変更(27)
	キャリアデザインⅡ形成2	1後		2			2 1	1 3			兼8 兼7 兼3 兼6 科目担当者の変更およびクラス増設(29) 科目担当者・職位の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27) 1年次配当の「キャリア形成1・2」については「社会力基礎演習1・2」と連動させるほうが教育効果が高いという判断から担当者を変更(27)
	キャリアデザインⅢ形成3	2前		2							兼3 兼6 科目担当者の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27)
	キャリアデザインⅣ形成4	2後		2							兼3 兼6 科目担当者の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27)
	キャリアデザインⅤ形成5	3前		2							兼2 兼6 科目担当者の変更(29) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27)
	キャリアデザインⅥ形成6	3後		2							兼2 兼6 科目担当者の変更(29) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27)
	アカデミック・ジャパニーズⅠ-A-1A	1前		1		1 2					兼2 兼1 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 日本語教育の充実に目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で本科目を担当することとしたため担当者を変更(27)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必	修	選 択 自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
社会人基礎力プログラム	アカデミック・ジャパニーズⅠ-B1B	1前		1		2					兼2 兼4	教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 日本語教育の充実を目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で本科目を担当することとしたため担当者を変更(27)
	アカデミック・ジャパニーズⅡ-A2A	1後		1		1 2					兼1 兼4	科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 日本語教育の充実を目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で本科目を担当することとしたため担当者を変更(27)
	アカデミック・ジャパニーズⅡ-B2B	1後		1		2					兼2 兼4	教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 日本語教育の充実を目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で本科目を担当することとしたため担当者を変更(27)
	ビジネスジャパニーズⅠ-A1A	2前		1		1					兼1	教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	ビジネスジャパニーズⅠ-B1B	2前		1		4					兼1	科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	ビジネスジャパニーズⅡ-A2A	2後		1		1					兼1 兼2 兼4	科目担当者の変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	ビジネスジャパニーズⅡ-B2B	2後		1		4					兼1	科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	日本企業とビジネスキャリアⅠ	3前		2		1					兼4	科目担当者の変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	日本企業とビジネスキャリアⅡ	3後		2		1					兼4	科目担当者の変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅠ-A1A	1前	1				4				兼3 兼4 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅠ-B1B	1前	1				4		1		兼5 兼2 兼4 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 平成26年10月の山崎大介准教授（専任）退職に伴い、英語教育の円滑な推進を目的に担当科目の調整を行った結果、担当者を変更(27)
	English CurrentⅡ-A2A	1後	1				4		2		兼3 兼4 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 平成26年10月の山崎大介准教授（専任）退職に伴い、英語教育の円滑な推進を目的に担当科目の調整を行った結果、担当者を変更(27)
	English CurrentⅡ-B2B	1後	1				4		1		兼5 兼3 兼4 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 平成26年10月の山崎大介准教授（専任）退職に伴い、英語教育の円滑な推進を目的に担当科目の調整を行った結果、担当者を変更(27)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必	修	選 択 自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
社会人基礎力プログラム	English CurrentⅢ-A3A	2前	1				+	1				兼2 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅢ-B3B	2前	1				+	2 +				兼2 兼5 兼6	教育効果を考慮し、クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅣ-A4A	2後	1				+	1				兼2 兼3 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅣ-B4B	2後	1				+	2 +				兼2 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅤ-A5A	3前	1					+				兼3 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅤ-B5B	3前	1					+	1			兼3 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅥ-A6A	3後	1					+				兼3 兼6	教育効果を考慮し、クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	English CurrentⅥ-B6B	3後	1					+	1			兼3 兼6	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置					備 考										
				必	修	選	択	自	由	教			授	准	教	授	講	師	助	教	助
学部基礎プログラム	総合基礎	哲学	1前		2															兼1	
		倫理学	1後		2															兼1	
		日本史	1前・後		2															兼1	
		西洋史	1前 1後		2				1												授業運営上の都合により、前期開講に変更(27)
		社会学	1前・後		2				1											兼1 兼2	科目担当者の変更(29) 科目担当者の変更(28)
		文化人類学	1前 1後		2				1												授業運営上の都合により、前期開講に変更(27)
		心理学	1前・後		2					1		1									科目担当者・職位の変更(28)
		環境科学	1前・後 1前 1前・後 1前		2				1											兼1	科目担当者の変更およびクラスの増設(29) 担当者の学長就任による授業負担減の措置に伴い、前期のみ開講に変更(28) 学生のニーズに基づき後期にも開講することが望ましいと判断したため、前・後期開講に変更(27)
		数学	1前		2															兼1	
		統計学	1前・後		2				1		1									兼1	科目担当者の変更(28) 関連分野の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
		情報科学Ⅰ-1	1前		2															兼1 兼2 兼4	科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
		情報科学Ⅱ-2	1後		2															兼1 兼2 兼4	海外提携校との協定に基づき、英語で授業を行うクラスを開設するため、担当者を追加(27) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
		情報社会論	1前		2															兼1	海外提携校との協定に基づき、英語で授業を行うクラスを開設するため、担当者を追加(27)
		情報倫理	1前・後 1後		2															兼1	開講期の変更(28)
		日本国憲法	1前・後 1前		2															兼1	学生のニーズに基づき後期にも開講することが望ましいと判断したため、前・後期開講に変更(27)
		文学	1前・後 1後		2				1											兼1	海外提携校からの交換教員帰国により、担当者減。(29) 科目担当者の変更(28) 学生のニーズに基づき前期にも開講することが望ましいと判断したため、前・後期開講に変更(27)
		外国事情（仏語圏）	1前・後		2				1												
		外国事情（スペイン語圏）	1前・後		2				1												
		中国語	1前		2				1											兼1	週2コマ
		中国語A	1前		1				1											兼2 兼4	クラス増設(29) 中国語A・Bは同時履修
		中国語B	1前		1				1											兼2 兼4	クラス増設(29) 中国語A・Bは同時履修
		中国語会話	1後		2				1											兼1	当面は旧課程の学生も履修するため教学システム運営上の混乱を防ぐ必要があり、1単位科目に分割して開講する方式に変更(27)
		中国語会話A	1後		1				1											兼1	週2コマ 中国語会話A・Bは同時履修
		中国語会話B	1後		1				1											兼1	中国語会話A・Bは同時履修 当面は旧課程の学生も履修するため教学システム運営上の混乱を防ぐ必要があり、1単位科目に分割して開講する方式に変更(27)
		健康科学	1前・後		2															兼2 兼4 兼2	科目担当者の変更(29) 関連分野の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部基礎 プログラム	総合基礎	スポーツ実習Ⅰ1	1前		1							兼1 兼2	教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
		スポーツ実習Ⅱ2	1後		1							兼1 兼2	関連分野の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
		異文化と国際理解A	1前		4		1						集中
		異文化と国際理解B	1前		4							兼1	集中
		異文化と国際理解C	1後		4		+	+				兼1	集中
													提携校における留学生受入れ体制の見直しながされたため、平成28年度および平成29年度休講(29)
													科目担当者の変更(28)
		異文化と国際理解D	1後		2		1						集中 海外実習先新設に伴い、科目を追加(29)
		ボランティア活動演習	1後 1前		2		1						集中 開講期の変更(29)
		コンピュータ活用1	1前		1			1				兼2 兼1	科目担当者の変更(28)
		コンピュータ活用2	1後		1			1				兼2 兼1	コンピュータリテラシー教育の充実を図るため、他学科には配当されている本科目を追加(27)
		総合特論A	1前・後		2		1					兼1	科目担当者の変更(28)
		総合特論B	1前・後		2		+					兼1 兼1	科目担当者の変更(28)
		経営情報特論A	1前 1前・後		2							兼1	科目担当者の変更(28)
		経営情報特論B	1後 1前・後		2							兼1	科目担当者の変更(28)
		現代社会の諸問題A	1前		1		+					兼1	社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)
		現代社会の諸問題B	1前		1		+					兼1	科目担当者の変更(28)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
学部基礎プログラム	観光マネジメントⅠ-1	1前	2			1	1 +				クラス増設(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 学生のニーズに基づきクラスを増設するため、担当者を追加(27)
	観光マネジメントⅡ-2	1後	2			1	1 +				クラス増設(29) 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 学生のニーズに基づきクラスを増設するため、担当者を追加(27)
	商学Ⅰ-1	1前		2			1	+	2		兼1 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 商学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	商学Ⅱ-2	1後		2			1	+	2		兼1 科目担当者・職位の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 商学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	経営学Ⅰ-1	1前		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	経営学Ⅱ-2	1後		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	会計学Ⅰ-1	1前		2							兼3 兼4 兼3 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 学生のニーズに基づきクラスを増設するため、担当者を追加(27)
	会計学Ⅱ-2	1後		2							兼3 兼4 兼3 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 学生のニーズに基づきクラスを増設するため、担当者を追加(27)
	簿記論Ⅰ-1	1前		2							兼5 兼3 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	簿記論Ⅱ-2	1後		2							兼5 兼3 科目担当者の変更(28) 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	経営情報学Ⅰ-1	1前		2							兼1 兼2 経営情報系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	経営情報学Ⅱ-2	1後		2							兼1 兼2 経営情報系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	企業経営と情報システムⅠ-1	1前		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	企業経営と情報システムⅡ-2	1後		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	経済学Ⅰ-1	1前		2					+		兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 経済学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	経済学Ⅱ-2	1後		2					+		兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27) 経済学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
	民法Ⅰ-1	1前		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	民法Ⅱ-2	1後		2							兼1 教学システム運営の関係上授業科目名称の一部を変更(27)
	専門特論A	1前・後		2		1					兼4 科目担当者の変更(28) 社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)
	専門特論B	1前・後		2		+					兼4 未開講科目(29) 科目担当者の変更(28) 社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助 教	助 手	
専門 ブ ロ グ ラ ム	国際ホテルのマネジメント	2前		2							兼1
	現代の観光交通ビジネス	2前 2後		2							兼1 開講期の変更(28)
	現代の旅行業ビジネス	2後 2前		2							兼1 開講期の変更(29)
	現代の観光物販ビジネス	2前 2後		2		+					兼1 平成28年度転記漏れ(29) 開講期の変更(28)
	観光まちづくりのデザイン	2後 2前		2		1					開講期の変更(28)
	観光調査とフィールドワーク	2後		2		1					
	日本の観光資源	2前		2		1					兼1 科目担当者の変更(28)
	世界の観光資源	2後		2		1					兼1 科目担当者の変更(28)
	観光市場の動向と展望	2前		2		1					
	世界のツーリズム	2後		2		+		1			兼1 平成28年度転記漏れ(29) 科目担当者の変更(28)
	観光マーケティング	2前		2		+					兼1 科目担当者の変更(28)
	観光事業と環境	2後		2		1					
	ホスピタリティ論	2後 2前		2		1					兼1 開講期の変更(29) 科目担当者の変更(28)
	M I C E 論	2後		2							兼1
	観光文化論	2前		2		1					
	観光英語演習	2後		2							兼1
	観光旅館のマネジメント	2前		2							兼1
	観光ホスピタリティ実務演習	2後		2		1					
	ホスピタリティマネジメント	2後 2前		2							兼1 開講期の変更(29)
	観光法規とリスクマネジメント	2後		2							兼1
	横浜中華街の世界	2前		2		1					
	横浜・野毛の商いと文化	2後		2		1					
	企業インターンシップA	2後 2前		2		+					兼1 開講期の変更(29) 科目担当者の変更(28) 集中
	企業インターンシップB	2後 2前		2		+					兼1 開講期の変更(29) 科目担当者の変更(28) 横浜商科大学高校・観光類型との協定に基づく高大連携教育として実施している「ホテル実習」の単位認定先となる科目を追加(27)
	学科特論(観)A	2前・後		2		+					兼1 科目担当者の変更(29) 社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)
	学科特論(観)B	2前・後		2		+					兼1 未開講科目(29) 社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)
	観光概論	2前		4		+					兼1 科目担当者の変更(28) 横浜商科大学高校・観光類型との協定に基づく高大連携教育として本学教員が担当している授業の単位認定先となる科目を追加(27)

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
				必	修	選 択 自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
フ ロ ン テ ィ ア プ ロ グ ラ ム	観 光 ビ ジ ネ ス 領 域	ホテルの商品開発研究	3後 3前		2								兼1	開講期の変更(29)
		料飲ビジネス研究	3後		2								兼1	
		旅行商品の開発研究	3・4前		2								兼1	
		空港経営と航空ビジネス研究	3・4前 3・4後		2							兼1		
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 領 域	エンターテインメントビジネス研究	3後 3前 3前 3後		2		1							開講期の変更(29) 開講期の変更(29)
		ホスピタリティ人材育成研究	3前 3後		2		1							
		観光メディア研究	3・4前		2		1							
		ホテル・旅館の運営と女性	3・4後		2							兼1		
	国 際 イ ベ ン ト ・ M I C E 領 域	国際的MICEの誘致・運営研究	3前		2								兼1	科目担当者の変更(29) 科目担当者の変更(29)
		世界のリゾート開発・運営研究	3後		2		4						兼1	
		イベント企画・運営研究	3・4前		2				1				兼4	
		国際文化交流研究	3・4後		2		1							
	ま ち づ く り 領 域	まちづくり活動実践の研究	3後 3前 3前 3後		2								兼1	開講期の変更(29)
		アートによる地域振興	3前 3後		2								兼1	開講期の変更(29)
		まちづくりの手法と政策	3・4後 3・4前		2								兼1	開講期の変更(29)
	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 領 域	スポーツマネジメント研究	3前		2								兼1	
		スポーツマーケティング	3後		2								兼1	
		スポーツ産業研究	3・4前		2								兼1	
		スポーツによる地域振興	3・4後		2								兼1	
課 題 研 究 プ ロ グ ラ ム		演習Ⅰゼミナール1	2前	2			5 6 7	3	1 4				兼16 兼15 兼12	科目担当者の変更(29) 科目担当者の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27) 科目担当者の変更(29) 科目担当者の変更(28) 旧課程の授業科目名との区別のため名称の一部変更(27) 科目担当者の変更(29) 旧課程の授業科目名との区別のため

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 19	科目 111	科目 0	科目 130	科目 19 [0]	科目 128 [17]	科目 0 [0]	科目 147 [17]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	専門特論B	2	1	専門	選択	教育上重要な時事的・先端的課題を扱う授業の実施を目的に必要なに応じて適宜開講する科目であり、該当する課題がなかったために未開講とした。(28) 平成29年度は専門特論Aを開講したが、専門特論Bについては、該当する課題がなかったために未開講とした。(29)
2	学科特論(観)B	2	2	専門	選択	教育上重要な時事的・先端的課題を扱う授業の実施を目的に必要なに応じて適宜開講する科目であり、該当する課題がなかったために未開講とした。(28) 平成29年度は学科特論(観)Aを開講したが、学科特論(観)Bについては、該当する課題がなかったために未開講とした。(29)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	中国語	2	1前	一般	選択	教学システム運営の関係上、中国語に替えて、中国語Aおよび中国語B(各1単位)をセットで履修させることとした。(27)
2	中国語会話	2	1後	一般	選択	教学システム運営の関係上、中国語会話に替えて、中国語会話Aおよび中国語会話B(各1単位)をセットで履修させることとした。(27)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

中国語および中国語会話は週2コマで実施する予定であったため、講義内容及び授業時間には変更がなく学習上の不利益は生じないと考える。学生に配布している「履修要覧・講義要項」およびWeb上のシラバスで周知を行った。(27)

未開講科目は、教育上重要な時事的・先端的課題を扱う授業の実施を目的に必要なに応じて適宜開講することを予定し、平成27年度に追加した科目であるが、該当する課題がなかったために開講しなかった。学生に対しては配布した時間割、シラバスで周知を行った。(28)

未開講科目は、教育上重要な時事的・先端的課題を扱う授業の実施を目的に必要なに応じて適宜開講することを予定し、平成27年度に追加した科目であるが、該当する課題がなかったために開講しなかった。学生に対しては配布した時間割、シラバスで周知を行った。(29)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{130} = \boxed{3.07} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	つるみキャンパス 借用面積：6,983.15㎡ 借用期間：30年			
	校 舎 敷 地	29,922.18㎡	㎡	㎡	29,922.18㎡	みどりキャンパス 借用面積：9387.80㎡ 鶴見キャンパスの借用面 積を重複計上していたこ との修正および駐車場用 地の返却 (27)			
	運動場用地	27,305.36㎡	㎡	㎡	27,305.36㎡	借用面積：17,171.96㎡ 借用期間：25年			
	小 計	57,227.54㎡	㎡	㎡	57,227.54㎡				
	そ の 他	0㎡ 411.54㎡ 1,212.54㎡	㎡	㎡	0㎡ 411.54㎡ 1,212.54㎡	つるみキャンパス 411.54㎡ 駐輪場用地売却 (29)			
	合 計	57,227.54㎡ 57,639.08㎡ 58,440.08㎡	㎡	㎡	57,227.54㎡ 57,639.08㎡ 58,440.08㎡				
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部を学生 ホールに改修 (28)				
	18,565.13㎡ 18,613.37㎡ (18,565.13㎡) (18,613.37㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	18,565.13㎡ 18,613.37㎡ (18,565.13㎡) (18,613.37㎡)					
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	24室	8室	0室 (補助職員 ー 人)	2室 (補助職員 ー 人)	0室 (補助職員 ー 人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		2名は共同研究室として1 室を利用 (29) 1名追加 (28)			
	商学部 観光マネジメント学科			15 14 13 室					
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能な ため、大学全体の数 図書、雑誌、視聴覚資料点数 を実数に修正 (29) 図書、雑誌、視聴覚資料点数 を実数に修正 (28) 平成27年4月に電子ブック パッケージ導入のため、図書 の平成27年度冊数、完成年度 予定冊数を修正 (27) 平成27年度5月1日時点の図 書、雑誌、視聴覚資料点数を 実数に修正 (27)	
		222,000 [44,000] 207,000 [28,000] (225,519 [45,465]) (223,552 [44,545]) (222,523 [44,496]) (207,000 [28,000])	6,000 [4,200] (6,403 [4,388]) (6,224 [4,206]) (6,052 [4,267]) (6,000 [4,200])	4,600 [4,170] (5,051 [4,348]) (4,872 [4,166]) (4,694 [4,228]) (4,600 [4,170])	1,900 (1,991) (2,026) (1,966) (1,900)	0 (0) (0) (0) (0)	0 (0) (0) (0) (0)		
	商学部 観光マネジメント 学科								
	計								
(6)図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		176,000 181,000	大学全体 収容可能冊数には研究室等別置分 を含まない 平成28年10月に、調査したとこ ろ、収納可能冊数に変更が生じた (29) 閲覧座席の配置見直しによる変更 (28)	
	1,401.31㎡		121 130						
(7)体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,561.89㎡		道場						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度は実績値 に修正。完成年度は転記 ミスにより修正。(28)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	19,151千円 18,000千円	18,000千円	18,000千円	
	学生1人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	34,363千円 12,125千円	14,808千円 12,125千円	12,153千円 12,125千円	大学全体
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,284千円	958千円	958千円	958千円	ー 千円	ー 千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	横 浜 商 科 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
商学部	年	人	年次 人	人		倍			
商学科	4	140	3年次 10	580	学士 (商学)	1.28	昭和43年度	神奈川県横浜市鶴見区東寺尾4-11-1	
観光マネジメント学科	4	70	3年次 4	288	学士 (商学)	1.21	平成27年度	同上	
経営情報学科	4	80	3年次 6	332	学士 (商学)	0.74	昭和49年度	同上	
貿易・観光学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	昭和49年度	同上	平成27年度より学 生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<商学部 観光マネジメント学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科主任)	羽田 耕治 (64)	平成27年 4月	観光マネジメントⅡ 現代の観光物販ビジネス 観光まちづくりのデザイン 観光市場の動向と展望 観光マーケティング 企業インターンシップ 世界のリゾート開発・運営研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ		教授 (学部長)				平成27年10月、学部長就任に伴う職名の変更(28)
					専	教授	央戸 学 (51)	平成28年 4月	観光マネジメント2	羽田耕治教授の学部長就任による授業負担減の措置に伴って、担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	庄子 真 (55)	平成28年 4月	現代の観光物販ビジネス 観光マーケティング	平成29年3月、尾野裕美講師退職、平成29年4月、田中聖華准教授(常勤)の新規採用に伴い、担当者を変更(29)
					兼任	准教授 講師	田中 聖華 (52) 尾野 裕美 (40)	平成29年 4月 平成28年 4月	企業インターンシップA	
					兼任	講師	野倉 淳 (60)	平成29年 4月	世界のリゾート開発・運営研究	羽田耕治教授の学部長就任による授業負担減の措置に伴って、担当科目の調整を行い、担当者を変更(29)
									ゼミナール1 ゼミナール2	平成31年3月に羽田耕治教授定年退職予定のため、ゼミナールの募集を停止。(29)
専	教授	今原 和正 (64)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズⅠA アカデミック・ジャパニーズⅠB アカデミック・ジャパニーズⅡA アカデミック・ジャパニーズⅡB 文学 中国語 中国語会話 異文化と国際理解A 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	講師 教授	末田 美香子 (48) 総田 はるみ (60)	平成28年 4月 平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズ1A アカデミック・ジャパニーズ2A	常勤の日本語教育担当教員を新規採用したことに伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28) 日本語教育の充実を目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で当該科目を担当することとしたため担当者を変更(27)
					兼任	講師	末田 美香子 (47)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズ1B アカデミック・ジャパニーズ2B	平成28年4月、本学常勤講師任用のため、職名を変更(28)
									ゼミナール1 ゼミナール2	平成31年3月に今原和正教授定年退職予定のため、ゼミナールの募集を停止。(29)
専	教授	総田 はるみ (50)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズⅠA アカデミック・ジャパニーズⅠB アカデミック・ジャパニーズⅡA アカデミック・ジャパニーズⅡB ビジネスジャパニーズⅠA ビジネスジャパニーズⅠB ビジネスジャパニーズⅡA ビジネスジャパニーズⅡB 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	講師	平田 真美 (55)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズ1B アカデミック・ジャパニーズ2B	日本語教育の充実を目的に教育体制を再編成し、日本語教育を専門とする教員で当該科目を担当することとしたため担当者を変更(27)
					兼任	講師	末田 美香子 (48)	平成28年 4月	ビジネスジャパニーズ1B ビジネスジャパニーズ2B	常勤の日本語教育担当教員を新規採用したことに伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28)
専	教授	小林 雅人 (59)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 環境科学 統計学 観光事業と環境 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ 特別演習Ⅳ 特別演習Ⅴ		教授 (学長)				平成27年7月、学長就任に伴う職名の変更(28)
					兼任	講師	亀井 隆太 (38)	平成28年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	小林雅人教授の学長就任による授業負担減の措置に伴って、担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
					専	教授	佐々 徹 (50)	平成28年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	
									プロジェクト研究A	履修学生数の実態に合わせた開講クラス数の削減に伴い、担当授業から削除(28)
					兼任	教授	小松 輝久 (65)	平成29年 4月	プロジェクト研究B プロジェクト研究C	小林雅人教授の学長就任による授業負担減の措置に伴って、担当科目の調整を行い、担当者を変更(29)
専	教授	佐々 徹 (50)	平成27年 4月	ボランティア活動演習 横浜中華街の世界 横浜・野毛の商いと文化 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ		教授 (学部長)				平成27年4月、学部長就任に伴う職名の変更 平成27年度記載漏れ(28)

専	教授	矢戸 学 (50)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 観光マネジメントⅠ 観光ホスピタリティ実務演習 エンターテインメントビジネス研究 ホスピタリティ人材育成研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	講師	鈴木 豪 (30)	平成29年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(29)
					専	講師	秋山 友志 (37)	平成28年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	関連分野の教員と担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
専	教授	中村 純子 (48)	平成27年 4月	社会学 文化人類学 観光調査とフィールドワーク 観光文化論 観光メディア研究 国際文化交流研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	講師	高 鮮徹 (56) 山田-修嗣 (47)	平成29年 4月 平成28年 4月	社会学	平成28年9月、山田修嗣講師退職のため、平成29年4月より担当者を変更(29) 関連分野の教員と担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
専	教授	平林 裕 (67)	平成27年 4月	外国事情(仏語圏)					外国事情(仏語圏)-	平林裕教授平成28年3月定年退職による削除。左記科目は設置時計画記載のとおり、後任として平成28年4月就任の足立誠一郎教授の担当科目にて開講される。(28)
専	教授	足立 誠一郎 (63)	平成28年 4月	外国事情(仏語圏) 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ 特別演習Ⅳ 特別演習Ⅴ	専	教授	渡部 哲郎 (67)	平成29年 4月	プロジェクト研究A プロジェクト研究B	関連分野の教員と担当科目の調整を行い、担当者を変更(29)
									プロジェクト研究C	履修学生数の実態に合わせた開講クラス数の削減に伴い、担当授業から削除(29)
専	教授	渡部 哲郎 (65)	平成27年 4月	西洋史 外国事情(スペイン語圏) 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ					ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール3 ゼミナール4	平成30年3月に渡部哲郎教授定年退職予定のため、ゼミナールの募集を停止。クラス数に不足は生じないため、後任は置かない。(28)
専	准教授	山崎 大介 (36)	平成27年 4月	English CurrentⅠA English CurrentⅠB English CurrentⅡA English CurrentⅡB English CurrentⅢA English CurrentⅢB English CurrentⅣA English CurrentⅣB English CurrentⅤA English CurrentⅤB English CurrentⅥA English CurrentⅥB 異文化と国際理解C	兼任	講師	吉田 孝子 (36) 東本 裕子 (46)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1A English Current2A	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29)
					兼任	准教授 講師	東本 裕子 (48) 木村 有里 (44)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1B English Current2B	平成28年3月、有本守男教授定年退職のため、担当者を変更(28) 平成26年10月 山崎大介准教授退職のため、平成27年4月より担当者を変更(27)
					専 兼任	教授	羽田 耕治 (65) 有本 守男 (67)	平成28年 4月 平成27年 4月	異文化と国際理解C	提携校における留学生受入れ体制の見直しが行なわれたため、平成28年度および平成29年度「異文化と国際理解C」休講(29)
					専 兼任	講師	木村 有里 (46) 王藤 俊 (33)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 平成29年3月、工藤俊講師および楠田由衣講師退職のため、担当者を変更(29)
					専 兼任	講師	河田 幸 (53) 楠田 由衣 (29)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3B English Current4B	英語教育担当教員の退職と新規採用、復職に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を決す。 後任未定科目については平成29年4月より開講のため、平成28年度中に担当者を決定する。(28) 平成26年10月 山崎大介准教授退職のため、平成27年度中に担当者を決定する。
					兼任	講師	三谷 瑛 (32) 後任未定	平成29年 4月	English Current5A English Current6A	平成28年4月より開講の科目のため、支障はない。(27)
					専	講師	河田 幸 (53) 後任未定	平成29年 4月	English Current5B English Current6B	

専	講師	田尻 慎太郎 (45)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ		准教授				平成28年4月、昇格による 職名変更(28)
	兼任				講師	佐藤 浩之 (44)	平成27年 4月	経済学1 経済学2		経済学系列の教員と科目 調整を行い、担当者を変更 (27)
専	講師	諸上(東海) 詩帆 (33)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 心理学 商学Ⅰ 商学Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ		准教授				平成28年4月、昇格による 職名変更(28)
	兼任				講師	遠谷 貴裕 (33)	平成28年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4 ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール5 ゼミナール6		教員の新規採用に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
専	講師	細江 哲志 (43)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 商学Ⅰ 商学Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ 特別演習Ⅳ 特別演習Ⅴ		准教授				平成28年4月、昇格による 職名変更(28)
	専				准教授 講師	諸上(東海) 詩帆 (34) (33)	平成27年 4月	商学1 商学2		平成28年、4月昇格による 職名変更(28) 商学系列の教員と科目調 整を行い、担当者を変更 (27)
	専				准教授	竹田 育広 (44)	平成29年 4月	プロジェクト研究A プロジェクト研究A		開講クラス数の調整によ り、平成29年度開講(29) 履修学生数の実態に合わ せた開講クラス数の削減 に伴い、担当授業から削 除(28)
								プロジェクト研究B プロジェクト研究C プロジェクト研究D プロジェクト研究E		履修学生数の実態に合わ せた開講クラス数の削減 に伴い、担当授業から削 除(29)
兼任	教授 (学部長)	伊藤 稔 (46)	平成27年 4月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ		教授				平成27年10月、学部長任 期満了に伴う職名の変更 (28)
兼任	教授	有本 守男 (67)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズⅠA アカデミック・ジャパニーズⅠB アカデミック・ジャパニーズⅡA アカデミック・ジャパニーズⅡB ビジネスジャパニーズⅠA ビジネスジャパニーズⅠB ビジネスジャパニーズⅡA ビジネスジャパニーズⅡB 健康科学 スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ 異文化と国際理解B	兼任 専	講師 教授	末田 美香子 (48) 総田 はるみ (60)	平成28年 4月 平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズ1A アカデミック・ジャパニーズ2A	常勤の日本語教育担当教 員を新規採用したことに 伴って、担当科目の再調 整を行い、担当者を変更 (28) 日本語教育の充実を目的 に教育体制を再編成し、 日本語教育を専門とする 教員で当該科目を担当す ることとしたため担当者 を変更(27)
	兼任				兼任	講師	平田 真美 (55)	平成27年 4月	アカデミック・ジャパニーズ1B アカデミック・ジャパニーズ2B	
	兼任				兼任	講師	末田 美香子 (48)	平成28年 4月	ビジネスジャパニーズⅠA ビジネスジャパニーズⅠB ビジネスジャパニーズⅡA ビジネスジャパニーズⅡB	平成28年3月、有本守男教 授定年退職のため、担当 者を変更(28)
	兼任 兼任				講師 教授	有本 守男 (68) 村上一郎 (68)	平成28年 4月 平成27年 4月	健康科学		平成28年3月、村上一郎教 授定年退職のため、有本 守男講師(4月より兼任講 師に就任)に変更(28)
	兼任 兼任				講師	池村 司 (30) 佐藤一洋 (28) 石濱 慎司 (46)	平成29年 4月 平成27年 9月 平成27年 4月	スポーツ実習1 スポーツ実習2		平成29年3月、佐藤洋講師 退職、平成29年4月、池村 司講師(常勤)の新規採 用に伴い、担当者を変更 (29) 平成27年7月、石濱慎司講 師退職のため、平成27年9 月より担当者を変更(28) 関連分野の教員と科目調 整を行い、担当者を変更 (27)
	兼任				教授	伊藤 稔 (48) 浮田 善文 (43)	平成29年 4月 平成27年 4月	異文化と国際理解B		担当者交代による変更 (29) 大学内での国際交流担当 者交代のため(27)
兼任	教授	飯島 千秋 (65)	平成28年 4月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ					ゼミナール1 ゼミナール2	平成31年3月に飯島千秋教 授定年退職予定のため、 ゼミナールの募集を停 止。(29)
兼任	教授	浮田 善文 (44)	平成27年 10月	統計学 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	専	准教授 教授	田尻 慎太郎 (46) 小林 雅人 (69)	平成28年 4月 平成27年 4月	統計学	小林雅人教授の学長就任 による授業負担減の措置 に伴って再度調整を行 い、担当者を変更(28) 関連分野の教員と科目調 整を行い、担当者を変更 (27)

兼任	教授	大石 庄一 (68)	平成27年 4月	日本史 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ 特別演習Ⅳ 特別演習Ⅴ	兼任	講師	伊藤 拓也 (41) 渋谷 葉子 (48)	平成28年 4月 平成27年 4月	日本史	平成28年3月、渋谷葉子講師退職のため、平成28年4月より担当者を変更(28) 平成27年3月 大石庄一教授退職のため、平成27年4月より担当者を変更(27)
					専	講師	秋山 友志 (37)	平成28年 4月	プロジェクト研究A	大石庄一教授退職に伴い、後任を決定。 後任未定科目については平成29年4月以降に開講のため、平成28年度中に担当者を決定する。(28) 平成27年3月 大石庄一教授退職のため、平成27年度中に担当者を決定する。 平成28年度後期より開講の科目のため、支障はない。(27)
					専	講師	秋山 友志 (38)	平成29年 4月	プロジェクト研究B	担当者決定による変更 (29)
					専	准教授	竹田 育広 (44)	平成29年 4月	プロジェクト研究C	担当者決定による変更 (29)
							後任未定		プロジェクト研究D プロジェクト研究E	
兼任	教授	川口 恵一 (62)	平成28年 4月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ					ゼミナール1 ゼミナール2	履修希望者0名のため、休講(29)
兼任	教授	小林 二三夫 (66)	平成28年 4月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	准教授	遠山 緑生 (41)	平成28年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール5 ゼミナール6	平成30年3月に小林二三夫教授定年退職予定のため、ゼミナールの募集を停止。後任を決定(28)
兼任	教授	高橋 信行 (64)	平成27年 4月	数学 情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ					ゼミナール1 ゼミナール2	平成31年3月に高橋信行教授定年退職予定のため、ゼミナールの募集を停止。(29)
兼任	教授	高橋 浩 (63)	平成27年 4月	哲学 倫理学 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任	講師	半田 栄一 (64)	平成28年 4月	哲学 倫理学	関連分野の教員と担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
兼任	教授	村上 一郎 (68)	平成27年 4月	健康科学	兼任 兼任	講師	池村 司 (30) 有本 守男 (68)	平成29年 4月 平成28年 4月	健康科学	平成29年4月、池村司講師(常勤)の新規採用に伴い、担当者を変更(29) 平成28年3月、村上一郎教授定年退職のため、担当者を変更(28)
兼任	教授	石井 明 (65)	平成27年 4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ 特別演習Ⅳ 特別演習Ⅴ					プロジェクト研究A プロジェクト研究A	開講クラス数の調整により、平成29年度開講(29) 履修学生数の実態に合わせた開講クラス数の削減に伴い、担当授業から削除(28)
兼任	准教授	遠山 緑生 (40)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ	専	准教授	竹田 育広 (44)	平成29年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(29)
					兼任	講師	亀井 隆太 (38)	平成28年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28)
兼任	准教授	吉田 武史 (40)	平成27年 4月	簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	兼任 兼任	教授 講師	石井 明 (66) 山本 孝夫 (67)	平成28年 4月 平成27年 4月	簿記論1 簿記論2	会計学系列教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28) 平成27年3月 吉田武史准教授退職のため、平成27年4月より担当者を変更(27)
					兼任	准教授	岩倉 由貴 (35) 後任未定	平成28年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール5 ゼミナール6	吉田武史准教授退職により、後任を決定(28) 平成27年3月 吉田武史准教授退職のため、平成27年度中に担当者を決定する。 平成28年4月より開講の科目のため、支障はない。(27)

兼任	准教授	吉田 朋樹 (51)	平成28年 4月	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ 演習Ⅴ 演習Ⅵ	専	准教授	竹田 育広 (44)	平成29年 9月	ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール5 ゼミナール6	吉田朋樹准教授ご逝去のため、担当者を変更。ゼミナール1, 2は募集停止。(29)
兼任	講師	佐藤 浩之 (44)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ	兼任	准教授 講師	土本 康生 (45) 尾野-裕美 (40)	平成29年 4月 平成28年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2 社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	平成29年3月、尾野裕美講師退職、平成29年4月、土本康生准教授（常勤）の新規採用に伴い、担当者を変更(29) 教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28)
兼任	講師	吉田 隆弘 (41)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ		准教授				平成28年4月、昇格による職名変更(28)
					兼任	講師	池村 司 (30)	平成29年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(29)
					兼任	講師	図子 泰三 (39)	平成28年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28)
兼任	講師	岩倉 由貴 (34)	平成27年 4月	社会力基礎演習Ⅰ 社会力基礎演習Ⅱ 社会力基礎演習Ⅲ 社会力基礎演習Ⅳ 商学Ⅰ 商学Ⅱ		准教授				平成27年4月、昇格による職名変更 平成27年度記載漏れ(28)
					兼任	講師	松尾 武司 (42)	平成29年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	教員の新規採用に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(29)
兼任	講師	大前 義幸 (33)	平成27年 4月	English CurrentⅠA English CurrentⅠB English CurrentⅡA English CurrentⅡB English CurrentⅢA English CurrentⅢB English CurrentⅣA English CurrentⅣB English CurrentⅤA English CurrentⅤB English CurrentⅥA English CurrentⅥB	兼任	講師	三谷 瑛 (31)	平成28年 4月	English Current1A English Current2A	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 平成28年3月、大前義幸講師退職のため、平成28年4月より担当者を変更。 後任未定科目については平成29年4月より開講のため、平成28年度中に担当者を決定する。(28) 英語教育の円滑な推進を目的に担当科目の調整を行った結果、担当者を変更(27)
					兼任 専	講師	レスター ダニ エーレ (34) 木村-有里 (44)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1B English Current2B	
					専 兼任	准教授	木村 有里 (46) 清水恵子 STUMBORG (63)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	
					兼任	准教授	清水恵子 STUMBORG (63)	平成28年 4月	English Current3B English Current4B	
					兼任	講師	三谷 瑛 (32) 後任未定	平成29年 4月	English Current5A English Current6A	
					兼任	准教授	清水恵子 STUMBORG (64) 後任未定	平成29年 4月	English Current5B English Current6B	
兼任	講師	川守田 恭枝 (43)	平成27年 4月	English CurrentⅠA English CurrentⅠB English CurrentⅡA English CurrentⅡB English CurrentⅢA English CurrentⅢB English CurrentⅣA English CurrentⅣB English CurrentⅤA English CurrentⅤB English CurrentⅥA English CurrentⅥB	専	講師	木村 有里 (44)	平成27年 4月	English Current1B English Current2B English Current3A English Current3B English Current4A English Current4B	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 英語教育担当教員の退職と新規採用、復職に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28) 平成26年5月 川守田恭枝講師退職のため、平成27年4月より担当者を変更(27)
					兼任 一専	講師	渡邊 美紀 (39) 木村-有里 (44)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current5A English Current6A	
					兼任 一専	講師	吉田 孝子 (36) 木村-有里 (44)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current5B English Current6B	
					兼任	講師	三谷 瑛 (31) 大前-義幸 (33)	平成28年 4月 平成27年 4月	English Current1A English Current2A	
					専 兼任	准教授	木村 有里 (46) 清水恵子 STUMBORG (63)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	
兼任	講師	佐藤 眞理子 (50)	平成27年 4月	English CurrentⅠA English CurrentⅠB English CurrentⅡA English CurrentⅡB English CurrentⅢA English CurrentⅢB English CurrentⅣA English CurrentⅣB English CurrentⅤA English CurrentⅤB English CurrentⅥA English CurrentⅥB	兼任	講師	吉田 孝子 (34)	平成27年 4月	English Current1A English Current2A English Current3A English Current4A English Current5A English Current5B English Current6A English Current6B	教育効果を考慮し、開講クラス数を調整の上、科目担当者を変更(29) 平成29年3月、工藤俊講師退職のため、担当者を変更(29) 英語教育担当教員の退職と新規採用、復職に伴って、担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28) 平成27年3月 佐藤眞理子講師退職のため、平成27年4月より担当者を変更(27)
					専 兼任	講師	河田 幸 (53) 吉田-孝子 (34)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current3B English Current4B	
					兼任	講師	三谷 瑛 (31) 宮本-茉未子 (27)	平成28年 4月 平成27年 4月	English Current1B English Current2B	
					兼任	講師	吉田 孝子 (36) 王藤-俊 (33)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	

兼担	講師	東本 裕子 (46)	平成27年 4月	English Current I A English Current I B English Current II A English Current II B English Current III A English Current III B English Current IV A English Current IV B English Current V A English Current V B English Current VI A English Current VI B	兼担	講師	三谷 瑛 (32)	平成29年 4月	English Current1A English Current2A	教育効果を考慮し、開講 クラス数を調整の上、科 目担当者を変更 (29) 平成29年3月、工藤俊講師 退職のため、担当者を変 更 (29) 英語教育担当教員の退職 と新規採用、復職に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更 (28) 英語教育の円滑な推進を 目的に担当科目の調整を 行った結果、担当者を変 更 (27)
					兼任 一専	講師	白須 洋子 (50) 木村 有里 (44)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1B English Current2B	
					兼担	講師	吉田 孝子 (36) 工藤 俊 (33)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	
					専	講師	河田 幸 (53)	平成29年 4月	English Current3B English Current4B	
					兼担	講師	渡邊 美紀 (39)	平成29年 4月	English Current5A English Current6A	
					兼担	講師	木村 登志子 (45)	平成29年 4月	English Current5B English Current6B	
兼担	講師	宮本 茉未子 (27)	平成27年 4月	English Current I A English Current I B English Current II A English Current II B English Current III A English Current III B English Current IV A English Current IV B English Current V A English Current V B English Current VI A English Current VI B	兼担	准教授 講師	清水恵子 STUMBORG (64) 橋田 由衣 (28)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1A English Current2A	教育効果を考慮し、開講 クラス数を調整の上、科 目担当者を変更 (29) 平成29年3月、橋田由衣講 師および工藤俊講師退職 のため、担当者を変更 (29) 平成27年8月、宮本茉未子 講師退職により、新規採 用教員も含めて再調整 し、後任の担当者を決 定。 後任未定科目については 平成29年4月より開講のた め、平成28年度中に担当 者を決定する。(28) 英語教育の円滑な推進を 目的に担当科目の調整を 行った結果、担当者を変 更 (27)
					兼担	准教授 講師	東本 裕子 (48) 木村 登志子 (44)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current1B English Current2B	
					専 兼担	講師	木村 有里 (46) 木村 登志子 (44)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3B English Current4B	
					兼担	講師	渡邊 美紀 (39) 工藤 俊 (33)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A English Current4A	
					兼担	講師	木村 登志子 (45) 後任未定	平成29年 4月	English Current5A English Current5B English Current6A English Current6B	
兼担	講師	渡邊 美紀 (37)	平成27年 4月	English Current I A English Current I B English Current II A English Current II B English Current III A English Current III B English Current IV A English Current IV B English Current V A English Current V B English Current VI A English Current VI B	兼担	准教授 講師	清水恵子 STUMBORG (64) 橋田 由衣 (28)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current1A English Current2A English Current3A English Current3B English Current4A English Current4B	教育効果を考慮し、開講 クラス数を調整の上、科 目担当者を変更 (29) 平成29年3月、橋田由衣講 師退職のため、担当者を 変更 (29) 渡邊美紀講師の復職、及 び他の英語教育担当教員 の退職・新規採用に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更 (28) 渡邊美紀講師より、平成 27年4月からの産休の申出 があり、担当者を変更 (27)
					兼担	講師	渡邊 美紀 (39) 橋田 由衣 (28)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current5A English Current6A	
					兼担	講師	木村 登志子 (45) 橋田 由衣 (28)	平成29年 4月 平成27年 4月	English Current5B English Current6B	
					兼担	講師	渡邊 美紀 (39) 木村 登志子 (44) 宮本 茉未子 (27)	平成29年 4月 平成28年 4月 平成27年 4月	English Current1B	
					兼担	講師	木村 登志子 (44) 宮本 茉未子 (27)	平成28年 4月 平成27年 4月	English Current2B English Current3B	
					兼担	講師	渡邊 美紀 (38)	平成28年 9月	English Current2B English Current4A	
					兼担	講師	木村 登志子 (45) 渡邊 美紀 (38)	平成29年 4月 平成28年 9月	English Current4B	
					兼担	講師 准教授	渡邊 美紀 (39) 清水恵子 STUMBORG (63)	平成29年 4月 平成28年 4月	English Current3A	

兼任	講師	荒川 峰彦 (59)	平成27年 4月	経営情報学Ⅰ 経営情報学Ⅱ	兼任	准教授	土本 康生 (45) 遠山-緑生 (40)	平成29年 4月 平成27年 4月	経営情報学1	情報学系列の教員と担当 科目の再調整を行い、担 当者を変更(29)
					兼任	准教授	吉田 隆弘 (43) 遠山-緑生 (40)	平成29年 4月 平成27年 4月	経営情報学2	平成27年3月 荒川峰彦講師退職のため、平成27年4月より担当 者を変更(27)
兼任	講師	井門 隆夫 (54)	平成28年 4月	観光旅館のマネジメント ホスピタリティマネジメント	兼任	講師	大野 正人 (63)	平成28年 4月	観光旅館のマネジメント ホスピタリティマネジメント	平成28年3月、井門隆夫講 師退職のため、平成28年4 月より担当者を変更(28)
兼任	講師	石濱 慎司 (46)	平成27年 4月	スポーツ実習Ⅰ スポーツ実習Ⅱ	兼任 兼任	講師	池村 司 (30) 佐藤 洋 (28)	平成29年 4月 平成27年 9月	スポーツ実習1 スポーツ実習2	平成29年3月、佐藤洋講師 退職、平成29年4月、池村 司講師(常勤)の新規採用 に伴い、担当者を変更 (29) 平成27年7月、石濱慎司講 師退職のため、平成27年9 月より担当者を変更(28)
兼任	講師	権代 美重子 (66)	平成28年 4月	ホスピタリティ論	専	教授	矢野 学 (51)	平成28年 4月	ホスピタリティ論	平成28年3月、権代美重子 講師退職のため、平成28 年4月より担当者を変更 (28)
兼任	講師	柴田 高 (62)	平成27年 4月	経営学Ⅰ 経営学Ⅱ	兼任	教授	川口 恵一 (62)	平成28年 4月	経営学1 経営学2	平成28年3月、柴田高講師 退職のため、平成28年4月 より担当者を変更(28)
兼任	講師	高橋 明弘 (60)	平成27年 4月	日本国憲法	兼任	講師	亀井 隆太 (38)	平成28年 4月	日本国憲法	平成28年3月、高橋明弘講 師退職のため、平成28年4 月より担当者を変更(28)
兼任	講師	近田 典行 (61)	平成27年 4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ	兼任	講師	遠谷 貴裕 (33)	平成28年 4月	会計学1 会計学2	会計学系列教員の新規採 用に伴って、担当科目の 再調整を行い、担当者を変 更(28)
兼任	講師	千葉(鈴木) 千枝子 (50)	平成28年 4月	現代の旅行業ビジネス 世界の観光資源 世界のツーリズム 旅行商品の開発研究	兼任	講師	鍛冶 栄一 (65) 佐々木 敏雄 (67)	平成29年 4月 平成28年 4月	現代の旅行業ビジネス	平成29年3月、佐々木敏雄 講師定年退職のため、担 当者を変更(29)
					専	教授	中村 純子 (49)	平成28年 4月	世界の観光資源	平成28年3月、千葉(鈴 木)千枝子講師退職のため、平成28年4月より担当 者を変更(28)
					専	講師	秋山 友志 (37)	平成28年 4月	世界のツーリズム	
					兼任	講師	鍛冶 栄一 (65) 後任未定	平成29年 4月	旅行商品の開発研究	担当者決定による変更 (29) 平成28年3月、千葉(鈴 木)千枝子講師退職のため、平成28年度中に担当 者を決定する。平成29年4 月より開講の科目のため、 支障はない。(28)
兼任	講師	永松 陽明 (41)	平成27年 4月	情報倫理 経営情報学Ⅰ 経営情報学Ⅱ	兼任	准教授 講師	吉田 隆弘 (42) (41)	平成27年 4月	情報倫理	平成28年4月、昇格による 職名変更(28)
					兼任	准教授	土本 康生 (45) 遠山-緑生 (40)	平成29年 4月 平成27年 4月	経営情報学1	経営情報系列の教員と科 目調整を行い、担当者を変 更(27)
					兼任	准教授	吉田 隆弘 (43) 遠山-緑生 (40)	平成29年 4月 平成27年 4月	経営情報学2	経営情報系列の教員と科 目調整を行い、担当者を変 更(29)
兼任	講師	奈良 堂史 (37)	平成29年 4月	スポーツマネジメント研究 スポーツマーケティング スポーツによる地域振興	兼任	講師	池村 司 (30)	平成29年 4月	スポーツによる地域振興	平成29年4月、池村司講師 (常勤)の新規採用に伴 い、担当者を変更(29)
兼任	講師	林 清 (67)	平成28年 4月	日本の観光資源	専	教授	中村 純子 (49)	平成28年 4月	世界の観光資源	平成28年3月、林清講師退 職のため、平成28年4月よ り担当者を変更(28)
兼任	講師	深澤 里奈子 (43)	平成29年 10月	ホテル・旅館の運営と女性	兼任	講師	大野 正人 (64)	平成29年 4月	ホテル・旅館の運営と女性	都合により、深澤里奈子 講師が就任できなくなっ たため、担当者を変更 (29)
兼任	講師	金久保 薫子 (47)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ 日本企業とビジネスキャリアⅠ 日本企業とビジネスキャリアⅡ	兼任	准教授	遠山 緑生 (40)	平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	1年次配当の「キャリア形 成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	喜多 朋子 (51)	平成27年 4月	キャリア形成3 キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	准教授	田中 聖華 (52)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
					専	教授	足立 誠一郎 (65)	平成29年 4月	日本企業とビジネスキャリア1 日本企業とビジネスキャリア2	担当科目の再調整を行 い、担当者を変更(29)

兼任	講師	倉本 祐子 (46)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ	専	准教授 講師	細江 哲志 (44) (43)	平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成28年4月、昇格による 職名変更(28) 1年次配当の「キャリア形成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	喜多 朋子 (51)	平成27年 4月	キャリア形成3 キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	准教授	田中 聖華 (52)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
兼任	講師	桑田 真理子 (55)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ	専	講師	秋山 友志 (36)	平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	1年次配当の「キャリア形 成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	永井 キクヨ (50)	平成27年 4月	キャリア形成3 キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	准教授	田中 聖華 (52)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
兼任	講師	吹野 あゆ子 (41)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ	兼任 専	教授 准教授	柳田 義継 (44) 竹田 育広 (42)	平成28年 4月 平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	教員の新規採用に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28) 1年次配当の「キャリア形 成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	永井 キクヨ (50)	平成27年 4月	キャリア形成3 キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	准教授	田中 聖華 (52)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
兼任	講師	玉村 雅敏 (43)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ	専	准教授 講師	田尻 慎太郎 (46) (45)	平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成28年4月、昇格による 職名変更(28) 1年次配当の「キャリア形 成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	黒田 貞 (64) 夫木一博 (67)	平成29年 4月 平成27年 4月	キャリア形成3	平成29年3月、大木博講師 定年退職のため、担当者 を変更(29)
					兼任	講師	斎藤 朋美 (56) 夫木一博 (67)	平成29年 4月 平成27年 4月	キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	中川 香織 (42)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
兼任	講師	渡辺 恭人 (44)	平成27年 4月	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ キャリアデザインⅤ キャリアデザインⅥ	兼任	准教授 講師	土本 康生 (45) 尾野 裕美 (39)	平成29年 4月 平成27年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成29年3月、尾野裕美講 師退職のため、担当者 を変更(29) 1年次配当の「キャリア形 成1・2」については「社会 力基礎演習1・2」と連動さ せるほうが教育効果が高 いという判断から担当者 を変更(27)
					兼任	講師	黒田 貞 (64) 夫木一博 (67)	平成29年 4月 平成27年 4月	キャリア形成3	平成29年3月、大木博講師 定年退職のため、担当者 を変更(29)
					兼任	講師	斎藤 朋美 (56) 夫木一博 (67)	平成29年 4月 平成27年 4月	キャリア形成4	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	中川 香織 (42)	平成29年 4月	キャリア形成5 キャリア形成6	「キャリア形成3～6」担 当教員の一部変更に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
					兼任	講師	図子 泰三 (39)	平成28年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成27年度の実施結果を 踏まえて「社会力基礎演 習」と「キャリア形成1・ 2」の担当教員編成を見直 し、担当者を追加(28)

					兼任	講師	松尾 武司 (41)	平成28年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成27年度の実施結果を踏まえて「社会力基礎演習」と「キャリア形成1・2」の担当教員編成を見直し、担当者を追加(28)
					兼任	講師	中川 香織 (42) 東—香織 (41)	平成29年 4月 平成28年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	改姓による氏名変更(29) 平成27年度の実施結果を踏まえて「社会力基礎演習」と「キャリア形成1・2」の担当教員編成を見直し、担当者を追加(28)
					兼任	講師	西村 悠 (34)	平成28年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	平成27年度の実施結果を踏まえて「社会力基礎演習」と「キャリア形成1・2」の担当教員編成を見直し、担当者を追加(28)
兼任	講師	陳 媚 媚 (31)	平成27年 4月	中国語	兼任	講師	任 升浩 (37) 吳 麗 (36) 許 静華 (34)	平成29年 4月 平成28年 4月 平成27年 4月	中国語A 中国語B	海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(29) 海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(28) 海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(27)
兼任	講師	岳 倩 (32)	平成27年 4月	中国語会話	兼任	講師	章 海英 (32) 姚 慧敏 (37) 劉 世琴 (34)	平成29年 9月 平成28年 4月 平成27年 4月	中国語会話A 中国語会話B	海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(29) 海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(28) 海外提携大学から受け入れている教員の交代があったため(27)
兼任	講師	宇野 英雄 (56)	平成28年 4月	国際ホテルのマネジメント 観光法規とリスクマネジメント ホテルの商品開発研究			相澤 英雄			改姓による氏名変更(28)
兼任	講師	浅井 新介 (63)	平成28年 4月	M I C E 論 国際的M I C E の誘致・運営研究 イベント企画・運営研究	兼任	講師	藤原 弘一 (61) 相澤 英雄 (57)	平成29年 4月 平成28年 9月	M I C E 論	関連分野の教員と担当科目の調整を行い、担当者を変更(29) 浅井新介講師就任辞退(逝去)のため、担当者を変更(28)
					兼任	講師	相澤 英雄 (57)	平成28年 9月	国際的M I C E の誘致・運営研究	
					専 兼任	講師	秋山 友志 (38) 相澤 英雄 (57)	平成29年 4月 平成28年 9月	イベント企画・運営研究	
兼任	講師	林 太一 (35)	平成27年 4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ	兼任 兼任	講師 教授	小滝 百合子 (55) 石井 明 (65)	平成28年 4月 平成27年 4月	会計学1 会計学2	会計学系列の教員と担当科目の再調整を行い、担当者を変更(28) 会計学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
兼任	講師	川口 修 (65)	平成27年 4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ	兼任	講師	横山 悟 (47)	平成27年 4月	会計学1 会計学2	会計学系列の教員と科目調整を行い、担当者を変更(27)
兼任	講師	原 俊之 (44)	平成27年 4月	民法Ⅰ 民法Ⅱ	兼任	講師	亀井 隆太 (38)	平成28年 4月	民法1 民法2	亀井隆太講師(常勤)の新規採用に伴って、担当科目の調整を行い、担当者を変更(28)
					兼任	講師	宮 希望 (26)	平成27年 4月	コンピュータ活用1 コンピュータ活用2	コンピュータリテラシー教育の充実を図るために科目を追加(27)
					兼任	講師	金森 孝浩 (31)	平成28年 4月	コンピュータ活用1 コンピュータ活用2	コンピュータリテラシー教育の充実を図るためにクラスを増設し、担当者を追加(28)
					専	准教授	細江 哲志 (44)	平成28年 4月	コンピュータ活用1 コンピュータ活用2	コンピュータリテラシー教育の充実を図るためにクラスを増設し、担当者を追加(28)
					専 兼任	教授	足立 誠一郎 (65) 羽田 耕治 (66) 伊藤 穰 (46)	平成29年 4月 平成27年 10月 平成27年 4月	総合特論A	平成29年度「総合特論A」、「総合特論B」、「専門特論A」開講のため、担当者を変更。「専門特論B」は未開講(29) 平成28年度未開講。学部長の交代に伴い、担当者を変更(28) 社会情勢の変化を踏まえた先端的な課題を扱う授業の実施を目的に、必要に応じて適宜開講できる科目を追加(27)
					兼任 専 兼任	講師 教授	吉田 孝子 (36) 羽田 耕治 (66) 伊藤 穰 (46)	平成29年 4月 平成27年 10月 平成27年 4月	総合特論B	
					専 兼任	教授	足立 誠一郎 (65) 羽田 耕治 (66) 伊藤 穰 (46)	平成29年 4月 平成27年 10月 平成27年 4月	専門特論A	
					専 兼任	教授	羽田 耕治 (65) 伊藤 穰 (46)	平成27年 10月 平成27年 4月	専門特論B	

					兼任	准教授 教授	吉田 隆弘 (42) 浮田 善文 (43)	平成27年 5月 平成27年 4月	経営情報特論A 経営情報特論B	情報学系列の教員と担当 科目の再調整を行い、担 当者を変更(28) 急速に変化するICT分野の 先端的な課題を扱う授業 の実施を目的に、必要に 応じて適宜開講できる科 目を追加(27)
					兼任	准教授	土本 康生 (45) 遠山 緑生 (41)	平成29年 4月 平成27年 5月	経営情報特論B	教員の新規採用に伴っ て、担当科目の再調整を 行い、担当者を変更(29)
					兼任 一専	教授	浮田 善文 (44) 小林 雅人 (59)	平成27年 10月 平成27年 4月	現代社会の諸問題A 現代社会の諸問題B	小林雅人教授の学長就任 に伴い、担当者を学生総 合センター長(教務担当 責任者)に変更(28) 入学前の事前教育として 大学で実施している授業 の単位認定先となる科目 を追加(27)
					兼任 一専	准教授 教授	田中 聖華 (52) 浮田 善文 (44) 尖戸 学 (50)	平成29年 4月 平成27年 10月 平成27年 4月	企業インターンシップB	キャリアセンター所属の 教員へ担当者変更(29) 学生総合センター長(教 務担当責任者)の交代に 伴い、担当者を変更(28) 横浜商科大学高校・観光類 型との協定に基づく高大 連携教育として実施して いる授業の単位認定先と なる科目を追加(27)
					兼任 一専	教授	浮田 善文 (44) 尖戸 学 (50)	平成27年 10月 平成27年 4月	観光概論	
					兼任 一専	講師 教授	関口 陽介 (54) 佐々 徹 (49)	平成29年 4月 平成27年 4月	学科特論(観) A	平成29年度「学科特論 (観) A」開講のため、担 当者変更。「学科特論 (観) B」は未開講(29) 平成28年度未開講(28) 社会情勢の変化を踏まえ た先端的な課題を扱う授 業の実施を目的に、必要 に応じて適宜開講できる 科目を追加(27)
					専	教授	佐々 徹 (49)	平成27年 4月	学科特論(観) B	
					専	准教授	田尻 慎太郎 (46)	平成28年 4月	統計学	履修学生数の状況に基づ いてクラスを増設し、担 当者を追加(28)
					兼任	講師	遠谷 貴裕 (33)	平成28年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	平成27年度の実施結果を 踏まえて「社会力基礎演 習」と「キャリア形成1・ 2」の担当教員編成を見直 し、担当者を追加(28)
					兼任	講師	西村 悠 (34)	平成28年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	平成27年度の実施結果を 踏まえて「社会力基礎演 習」と「キャリア形成1・ 2」の担当教員編成を見直 し、担当者を追加(28)
					専	准教授	諸上 詩帆 (35)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					専	准教授	細江 哲志 (45)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					専	准教授	田尻 慎太郎 (47)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					専	講師	秋山 友志 (38)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	横山 悟 (49)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	小滝 百合子 (56)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	佐藤 浩之 (46)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	吉田 隆弘 (43)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	亀井 隆太 (39)	平成29年 4月	ゼミナール1 ゼミナール2	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					専	教授	今原 和正 (66)	平成29年 4月	ゼミナール1	履修学生数の状況に基づ いてクラスを増設し、担 当者を追加(29)
					兼任	准教授	田中 聖華 (52)	平成29年 4月	ゼミナール1	履修学生数の状況に基づ いてクラスを増設し、担 当者を追加(29)
					兼任	講師	池村 司 (30)	平成29年 4月	ゼミナール1	平成29年度よりゼミナール 新規開講のため、担当 者を追加(29)
					兼任	講師	池村 司 (30)	平成29年 4月	プロジェクト研究A	履修学生数の状況に基づ いてクラスを増設し、担 当者を追加(29)
					専	准教授	竹田 育広 (44)	平成29年 4月	観光マネジメント1 観光マネジメント2	履修学生数の状況に基づ いてクラスを増設し、担 当者を追加(29)

					兼任	教授	小松 輝久 (65)	平成29年 4月	環境科学	履修学生数の状況に基づいてクラスを増設し、担当者を追加(29)
					兼任	講師	江 新興 (50)	平成29年 4月	中国語A 中国語B	海外提携大学からの交換教員来日のため、担当者を追加(29)
					兼任	講師	ユーリンド ナルド (55)	平成28年 4月	文学	平成28年度記載漏れ。海外提携大学からの交換教員来日のため、担当者を追加。平成28年度7月帰国のため、担当減。(29)
					兼任	講師	横山 悟 (49)	平成29年 4月	簿記論1 簿記論2	習熟度に応じたクラス増設(29)
					兼任	講師	小滝 百合子 (56)	平成29年 4月	簿記論1 簿記論2	習熟度に応じたクラス増設(29)
					兼任	講師	鈴木 勝浩 (49)	平成29年 4月	簿記論1 簿記論2	習熟度に応じたクラス増設(29)
					兼任	教授	高橋 浩 (65)	平成29年 4月	社会力基礎演習1 社会力基礎演習2	履修学生数の状況に基づいてクラスを増設し、担当者を追加(29)
					兼任	講師	鈴木 豪 (30)	平成29年 4月	社会力基礎演習3 社会力基礎演習4	履修学生数の状況に基づいてクラスを増設し、担当者を追加(29)
					兼任	准教授	東本 裕子 (48)	平成29年 4月	キャリア形成1 キャリア形成2	履修学生数の状況に基づいてクラスを増設し、担当者を追加(29)
					専	教授	総田 はるみ (52)	平成29年 4月	異文化と国際理解D	平成29年度新規追加科目の担当者を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	1	3	0	13	9	4	3	0	16	9	4	3	0	16
(9)	(1)	(3)	(0)	(13)						[0]	[3]	[0]	[0]	[3]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
68 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	山崎 大介	必修	English Current1A	②	本人都合による退職に伴う就任辞退（27）							
			必修	English Current1B	②								
			必修	English Current2A	②								
			必修	English Current2B	②								
			必修	English Current3A	①								
			必修	English Current3B	①								
			必修	English Current4A	①								
			必修	English Current4B	①								
			必修	English Current5A	②								
			必修	English Current5B	①								
			必修	English Current6A	②								
			必修	English Current6B	①								
	選択	異文化と国際理解C	③										
合 計（A）					後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	12	科目	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	6	科目	計	6	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	平林 裕	選択	外国事情（仏語圏）	①	定年退職のため辞任（28）				
合 計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）				後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2	人	必修	12 科目	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目		
		選択	2 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	1 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	14 科目	計	7 科目	計	6 科目	計	1 科目		

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年度実施科目については学内の同一分野担当教員に振り替えるとともに、学生に配布している「履修要覧・講義要項」およびWeb上のシラバスで周知を行った。

次年度以降開講科目については平成27年度内に担当者を決定し周知を行う。(27)

平成28年度実施科目については全て、設置時の計画で予定していた後任教員もしくは学内の同一分野担当教員が引き継いでおり、学生に配布している「履修要覧・講義要項」およびWeb上のシラバスで周知を行った。

平成29年度以降開講科目については平成28年度内に担当者を決定し周知を行う。(28)

平成29年度実施科目については全て、設置時の計画で予定していた後任教員もしくは学内の同一分野担当教員が引き継いでおり、学生に配布している時間割およびシラバスで周知を行った。(29)

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<商学部 観光マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 管理運営の体制 1) 教授会 2) 大学評議会 3) 教務委員会 4) 学生生活委員会	① 管理運営の体制の変更 1) 法令の変更に対応し、別添1のとおり横浜商科大学教授会運営規程を制定し、開催頻度、審議事項等を変更した。(27) 別添1のとおり、横浜商科大学教授会運営規程を改正し、社会人基礎力プログラムの実施及び改良並びに先進的教授法の開発を図るため、先端教育開発研究所を設置した。(28) 2) 別添2の学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則に基づき、大学評議会にかえて、大学運営会議を設置することとした。(27) 別添2のとおり、学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則を改正した。(28) 3) 従来教務委員会で行っていた事業は、別添2の学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則に基づくセンター制への移行に伴い、学生総合センター運営員会教務専門部会で取り扱うこととした。(27) 別添2のとおり、学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則を改正した。(28) 4) 従来学生生活委員会で行っていた事業は、別添2の学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則に基づくセンター制への移行に伴い、学生総合センター運営員会学生生活専門部会で取り扱うこととした。(27) 別添2のとおり、学校法人横浜商科大学組織および職務に関する規則を改正した。(28)
② 卒業要件 1) フロンティアプログラムに係る卒業要件変更	② 卒業要件の変更 1) 3年次から履修を開始するフロンティアプログラムの授業科目において、学生の卒業後の進路先や関心に応じ、複数領域から履修選択可能とすることが教育上有益であるため、履修方法の弾力化を図り、フロンティアプログラムの卒業要件について、「1領域8単位」から「8単位」修得するように別添1の学則第11条を改正した。(29)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
学生総合センター運営委員会 教務専門部会にて所轄し、FD担当の専任教員を配置している。
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
毎月1回の頻度で定期的に運営会議を実施。（部会委員数5名）
- c 委員会の審議事項等
 - ① 講義方法及び授業内容の改善に関する事項
 - ② 教育上の条件及び環境整備に関する事項
 - ③ 学長から諮問された事項
 - ④ その他委員会の運営上必要な事項

② 実施状況

- a 実施内容
 - ① 初年次教育担当者 授業内容・教授法改善検討会議
 - ② 英語教育担当者 授業内容・教授法改善検討会議
 - ③ 日本語教育担当者 授業内容・教授法改善検討会議
 - ④ 簿記会計担当者 授業内容・教授法改善検討会議
 - ⑤ 「3つのポリシーの作成と一貫性構築手法」ワークショップ
 - ⑥ 「地域を支え地域に支えられる小規模大学の教育改革」講演
 - ⑦ カリキュラム可視化ワークショップ
 - ⑧ ルーブリック講習会
 - ⑨ 非常勤講師懇談会
 - b 実施方法
 - ① 初年次教育（社会力基礎演習、キャリア形成）担当全教員による会議。
授業内容改善、教材開発、教授法改善、クラス編成方針等について検討。
 - ② 英語教育（English Current）担当全教員による会議。
授業内容改善、教材開発、教授法改善、クラス編成方針等について検討。
 - ③ 日本語教育（アカデミック・ジャパニーズ、ビジネスジャパニーズ）担当全教員による会議。
授業内容改善、教材開発、教授法改善、クラス編成方針等について検討。
 - ④ 簿記会計関連科目担当者による検討会議。
授業内容改善、クラス編成方針等について検討。
 - ⑤ 常勤教職員対象。ワークショップ形式。
 - ⑥ 常勤教職員対象。事例紹介とディスカッション。
 - ⑦ 常勤教職員対象。ワークショップ形式。
 - ⑧ 常勤教員および参加を希望する非常勤教員対象。講習会。
 - ⑨ 非常勤講師懇談会 次年度教育方針の周知等。
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 平成28年4月～29年3月	前・後期の期初、中間、期末に開催	：初年次教育 科目担当者 16名
② 平成28年4月～29年3月	必要に応じて適宜開催	：英語部会員 3名
③ 平成28年4月～29年3月	必要に応じて適宜開催	：日本語教育 科目担当者 3名
④ 平成29年3月29日開催		：簿記会計関連科目担当者 3名
⑤ 平成28年8月 4日開催		：教職員 29名
⑥ 平成29年3月 7日開催		：教職員 55名
⑦ 平成29年3月22日開催		：教職員 28名
⑧ 平成29年3月29日開催		：非常勤講師・新任専任教員 35名
⑨ 平成29年3月29日開催		：非常勤講師・新任専任教員 48名
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・「社会力基礎演習3・4」において、横浜市鶴見区と本学との包括連携協定に基づく「鶴見まちづくり政策コンペ」を2016年度より実施。
 - ・「簿記論1・2」において習熟度別クラス編成を導入。学生の習熟度に合わせた効果的な授業運営を2016年度より実施。
 - ・「English Current」においては、担当者間での密な情報交換により各学生の学習状況を細かく把握。それに合わせたきめ細やかな指導を実現している。
 - ・日本語教育においても担当者が密に情報交換をしており、留学生の日本語力向上に対して細やかな指導をしているのみでなく、日本での生活における諸問題への相談にも応じている。
 - ・「3つのポリシーの作成と一貫性構築手法」ワークショップにおいては、講師を招聘し、ワークショップ形式で3ポリシーのチェックポイントと書き直しについて理解を深める講習会を実施した。
 - ・「地域を支え地域に支えられる小規模大学の教育改革」講演においては、講師を招聘し、事例紹介を聴き、ディスカッションを通して、本学における教育改革について再考する機会を設けた。
 - ・カリキュラム可視化ワークショップにおいては、講師を招聘し、ワークショップ形式で各学科のカリキュラムマップ作成手法を学び、ポスターセッションとフィードバックを実施した。
 - ・ルーブリック講習会においては、講師を招聘し、評価手法の一つであるルーブリックの基礎を学び、導入の可能性について理解を深める講習会を実施した。
- ### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
各学期末に実施
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
結果は各教員に通知するとともに、IR委員会において改善の必要があると判定した授業に対しては、授業改善計画書の提出を求めている。
学生へはポータルサイトで集計結果を公開。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

観光・ホスピタリティ関連分野の中でもとくにビジネスとそのマネジメントの側面に照準を合わせた教育を目的として設置した当学科は、引き続き多くの支持を得ることができ、平成29年度は入学定員の1.98倍の受験生を集め、継続的に意欲ある学生を受け入れることができています。今年度より、3年次から履修を開始するフロンティアプログラムの授業科目を開講し、順調に進捗している。完成年度に向け、観光・ホスピタリティ関連分野における総合的な知識を身につけた、広範な応用力を有する人材の育成を実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に認証評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年12月下旬予定)

添付資料

- ・ 別添 1 横浜商科大学学則

○横浜商科大学学則

〔 昭和 43 年 4 月 1 日 〕
制 定

改正	昭和 44 年 4 月 1 日	昭和 45 年 4 月 1 日
	昭和 49 年 4 月 1 日	昭和 50 年 4 月 1 日
	昭和 51 年 4 月 1 日	昭和 53 年 4 月 1 日
	昭和 55 年 4 月 1 日	昭和 57 年 4 月 1 日
	昭和 59 年 4 月 1 日	昭和 61 年 4 月 1 日
	平成元年 4 月 1 日	平成 2 年 4 月 1 日
	平成 3 年 4 月 1 日	平成 4 年 4 月 1 日
	平成 7 年 4 月 1 日	平成 8 年 4 月 1 日
	平成 10 年 5 月 30 日	平成 11 年 4 月 1 日
	平成 12 年 4 月 1 日	平成 14 年 7 月 27 日
	平成 19 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 29 日
	平成 20 年 12 月 11 日	平成 21 年 7 月 18 日
	平成 22 年 12 月 11 日	平成 23 年 7 月 23 日
	平成 25 年 4 月 20 日	平成 25 年 9 月 28 日
	平成 26 年 3 月 29 日	平成 27 年 1 月 24 日
	平成 27 年 7 月 18 日	平成 28 年 2 月 20 日
	平成 29 年 2 月 18 日	

目次

- 第1章 総則（第 1 条－第 4 条）
- 第2章 学年、学期、休業日（第 5 条－第 7 条）
- 第3章 授業科目、履修方法（第 8 条－第 18 条）
- 第4章 入学、退学、休学、卒業・学位、除籍等（第 19 条－第 36 条）
- 第5章 学費（第 37 条－第 41 条）
- 第6章 職員組織（第 42 条－第 43 条）
- 第7章 大学運営会議、教授会（第 44 条－第 45 条）
- 第8章 賞罰（第 46 条－第 47 条）
- 第9章 科目等履修生、聴講生（第 48 条－第 49 条）
- 第10章 図書館等（第 50 条）
- 第11章 厚生保健施設（第 51 条）
- 第12章 公開講座（第 52 条）
- 第13章 雑則（第 53 条）

附 則

第 1 章 総則

（本学の目的等）

第1条 横浜商科大学（以下「本学」という。）は、国際的教養の豊かな産業界の指導者を養成する

ため高等学校卒業者等に対し、商学に関する専門教育を施し、信義誠実を尚び「安んじて事を託さるる」人材を育成することを目的とする。

2 本学は、前項の目的を達成するため、次の教育方針を定める。

- (1) 高度な専門的職業人としての知識の修得
- (2) 高潔な倫理的水準の維持
- (3) 職業に対する強い使命感・責任感の修得
- (4) 崇高な奉仕の精神の養成

3 本学に商学部を置き、その学科の教育目標を次のとおり定める。

- (1) 商学科：現代の商取引や企業経営に必要となる専門的知識を総合的に修得して現代ビジネスの諸問題を把握し、グローバル化が進むビジネス社会で自律的に活躍できるとともに、高潔な倫理観と強い使命感をもって、社会の変化を捉えた先駆的なビジネスの開拓と創造に貢献できる人材を育成する。
- (2) 観光マネジメント学科：観光・ホスピタリティ分野のビジネスとマネジメントに関する専門的知識とともに、それを交流文化の創造や地域の活性化に結びつける応用力をも修得し、観光・ホスピタリティ産業の革新や新たな事業の構想とビジネスの創造を通じた観光立国の推進、観光による国際交流の促進、都市・地域の振興において先駆的な貢献のできる人材を育成する。
- (3) 経営情報学科：情報コミュニケーション技術に関する先端的な知識や情報通信メディアの活用スキルを自身の核となる専門力として修得するとともに、経済や企業経営に関する知識をも身につけ、情報化・ネットワーク化の進展によって急激な変化を続けるビジネス社会の最前線で活躍できる人材を育成する。

（自己点検・評価及び認証評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

3 教育研究活動等の状況についての情報は、刊行物への掲載、インターネットの利用、その他広く周知を図ることができる方法によって行うものとする。

4 この学則に定めるもののほか、自己点検及び評価については、別に規程で定める。

（入学定員・収容定員）

第3条 商学部各学科の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 科 名	入学定員	第3年次 編入学定員	収容定員
商 学 科	140 人	10 人	580 人
観光マネジメント学科	70 人	4 人	288 人
経営情報学科	80 人	6 人	332 人
合 計	290 人	20 人	1,200 人

（修業年限、在学年限）

第4条 修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

2 編入学、転入学及び再入学した者の在学年限は、在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

第2章 学年、学期、休業日

（学 年）

第5条 学年は、原則として4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。

2 前項の規定にかかわらず第20条第2項により秋学期に入学する者の学年は、10月1日に始まり翌年9月30日までとする。

（学 期）

第6条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日に始まり9月30日まで

秋学期 10月1日に始まり翌年3月31日まで

（休業日）

第7条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日

(3) 本学の開学記念日（4月18日）

(4) 春季休業（2月中旬から3月下旬まで）

(5) 夏季休業（8月上旬から9月下旬まで）

(6) 冬季休業（12月下旬から翌年1月上旬まで）

2 春季休業、夏季休業及び冬季休業の始期と終期は、該当年度の学年暦に基づいて決定する。

3 学長は、休業日について必要と認めたときは、変更又は休業日に授業を行い、若しくは臨時休業日を定めることができる。

第3章 授業科目、履修方法

（教育課程の編成）

第8条 授業科目は、社会人基礎力プログラム、学部基礎プログラム（総合基礎、専門基礎）、専門プログラム、フロンティアプログラム及び課題研究プログラム並びに教職に関する科目とし、4年間に配当して開設する。

（教育課程）

第9条 各学科の授業科目及び単位数は、商学科別表第1、観光マネジメント学科別表第2、経営情報学科別表第3のとおりとする。

（授業科目の履修登録）

第10条 学生は、履修しようとする授業科目を定め、所定の期日までに履修登録をしなければならない。

2 各年次において履修できる単位の上限は、第1、第4年次各48単位（各学期24単位）、第2、第3年次各40単位（各学期20単位）とする。ただし、第4年次については、学生の事情により、学部長は60単位（各学期30単位）までの履修登録を認めることができる。

（卒業の要件）

第11条 学生は、卒業の認定を受けるためには、本学に4年以上在学し、社会人基礎力プログラムから32単位、学部基礎プログラムから36単位以上（総合基礎20単位以上、専門基礎16単位以上）、専門プログラム36単位以上、フロンティアプログラムから8単位及び課題研究プログラム12単位、合計124単位以上を修得しなければならない。

2 専門プログラムにおいては、8単位を上限に所属する学科に開設されていなくても、他学科にある授業科目の履修を認める。

（教職課程）

第12条 商学部において教育職員免許状授与の所要資格が得られる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 科	免許状の種類	免 許 教 科
商 学 科	高等学校教諭	商 業
経営情報学科	一種免許状	商業 情報

2 前項の教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、第11条に定める単位を修得し、かつ教育職員免許法（昭和24年5月31日法律第147号）及び同法施行規則（昭和29年10月27日文部省令第26号）の定める教職に関する科目の所定の単位を別表第4に基づいて修得しなければならない。

（他の大学等における授業科目の履修等）

第13条 本学が教育上有益と認めるときは、入学前又は入学後に、次の各号により修得した単位を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を認定することができる。

- (1) 本学に入学する前に他の大学又は短期大学において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）
- (2) 国内外の他の大学又は短期大学との協議に基づく当該大学又は短期大学における学修
- (3) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修
- (4) 大学設置基準第29条第1項の規定による、大学が単位を与えることのできる学修（平成3年文部省告示第68号）に該当する学修

2 前項により認定する単位数は、編入学、転入学及び学士の学位を有する者が入学する場合を除き、合わせて60単位を超えないものとする。

（単位）

第14条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業時間をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業時間をもって1単位とする。

（成績評価の方法）

第15条 各授業科目の成績評価は、試験又はこれに代わる方法によって定める。

（成績評価の表示方法）

第16条 前条による成績評価は、A+(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、R(認定)、F(不可)とし、F(不可)を不合格とする。

2 学生による履修辞退もしくは成績評価不能の場合は、Wと標記する。

（成績評価基準等の明示等）

第17条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対しその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（授業内容等の改善のための組織的な研修等）

第18条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

る。

第4章 入学、退学、休学、卒業・学位、除籍等

（入学者選抜の方針）

第19条 本学は、建学の精神「安んじて事を託さるる人となれ」を実践するために、信義誠実を尊重し、ビジネスの世界で活躍したいと考えている意欲溢れる前向きな人材を求めることを入学者選抜の方針と定める。

（入学の時期）

第20条 入学の時期は、学年始めとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長裁定で定めるところにより、入学の時期を秋学期の始めとすることができる。

（入学資格）

第21条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（編入学資格）

第22条 本学第3年次に編入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 短期大学（外国の短期大学、我が国において、外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む。）を卒業した者

(2) 高等専門学校を卒業した者

(3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
(転入学)

第23条 本学第 3 年次の学科に欠員がある場合に限り、次の各号の一に該当する者は、転入学を認めることがある。

(1) 大学を卒業した者

(2) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者

(出願、選考)

第24条 入学志願者は、入学志願票に別に定める入学検定料及び書類を添えて願い出なければならない。

2 前項の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続)

第25条 前条第 2 項による選考の結果、合格した者は、指定の期日までに所定の書類を提出するとともに、入学金及び入学年次の年額学費又は入学する当該学期分学費を納付しなければならない。ただし、第 27 条により再入学する者については、入学金の納付は免除する。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(退 学)

第26条 やむを得ない理由により退学しようとする者は、その理由を付して保証人連署で学長に願い出て許可を受けなければならない。理由が疾病の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(再入学)

第27条 本学の退学者で再入学を志望する者から保証人連署で願い出があったときは、学長は許可することがある。

(休 学)

第28条 疾病その他やむを得ない理由により 3 か月以上修学することができない者は、保証人連署で当該学期の休学を学長に願い出て許可を得て休学することができる。理由が疾病の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の理由が当該学期中に消滅しない場合は、保証人連署で翌学期までの休学期間の延長を学長に願い出ることができる。

(休学期間)

第29条 休学期間は、継続して 2 年、通算して 4 年を超えることはできない。

2 休学期間は、第 4 条の在学年限に算入しない。

（復 学）

第30条 休学期間が満了し、休学の理由が消滅した場合は、保証人連署で復学を学長に願い出て許可を得て復学することができる。

2 復学は、休学した年次とし、時期は学期の始めとする。

（本学の認定した外国の大学への留学）

第31条 留学志願者から願い出があったときは、本学が認定した外国の大学又はそれに相当する高等教育機関への留学を認めることがある。

2 前項の規定により留学する者の留学期間は、第 4 条に定める修業年限に含めることができる。

3 第 1 項の規定により留学する者は、当該年度の学費を納付しなければならない。

（転学科）

第32条 転学科を志望する者から第 1 年次末又は第 2 年次以降の各学期学年末に、保証人連署で願い出があった場合、学長は許可することがある。

2 前項において、在籍中 2 回以上の転学科はこれを認めない。

（転 学）

第33条 他の大学への入学又は転学を志願しようとする者は、保証人連署で願い出て、学長の許可を得なければならない。

（卒業認定・学位授与）

第34条 本学に 4 年以上在学し、第 11 条に定める授業科目及び単位を修得した者については、学長が、教授会の意見を聴いて卒業を認定し、学士（商学）の学位を授与する。

2 卒業の時期は、春学期又は秋学期の終了日とする。

（卒業延期）

第35条 前条第 2 項の規定により卒業の時期が春学期の終了日となる者については、本人の願い出に基づき、学長が卒業延期を認めることがある。

2 前項の規定により卒業延期を認められた者は、当該学期の卒業延期在籍料を納付するものとする。

（除 籍）

第36条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 正当な理由なく学費等の納付を怠り、督促をしてもなお納付しない者
- (2) 第 4 条に定める在学年限を超える者
- (3) 第 29 条第 1 項に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 長期にわたり連絡のとれない者

(5) 在留資格「留学」を有する者で、法務省入国管理行政機関において在留資格の更新が認められず、帰国の指示を受けた者。ただし、帰国後に本学が在留資格認定申請を行うに相当する事由があると学長が認めた者を除く。

第5章 学費

(学費の費目)

第37条 「学費」とは、入学金並びに授業料、施設設備費及び教育充実費とし、その金額は、別表第5のとおりとする。

(特別の費用)

第38条 演習、実験、実習その他について、特別の費用を要するときは、学長は、これを別に徴収することがある。

(休学在籍料)

第39条 本学の定める期間内で、休学を許可された者は、当該学期の休学在籍料を納付するものとする。

(学費納付期日)

第40条 学費は、所定の期日までに納付するものとする。

(既納学費の不返還)

第41条 既に納めた学費は、別に定める基準に該当する場合を除き返還しない。

第6章 職員組織

(職員の構成)

第42条 本学に学長、学部長、教授、准教授、専任講師、助教、事務職員及び技術職員を置く。

2 本学に副学長を置くことができる。

3 学長は、第1項のほか必要な職員を置くことができる。

(職員の職務)

第43条 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第7章 大学運営会議、教授会

(大学運営会議)

第44条 本学に、教学に関する重要事項等を審議するために大学運営会議を置く。

2 大学運営会議の構成、運営、審議事項等に関しては、別に規程で定める。

（教授会）

第45条 本学に教授会を置き、学長、教授、准教授、専任講師及び助教をもって組織する。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

（1） 学生の入学及び卒業

（2） 学位の授与

（3） 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、学長が教授会の意見を聴くことが必要のものとして学長が定めるもの

3 学長は、前項第3号に規定する事項を定めるときは、教授会の意見を聴いて、学長裁定で定める。

4 教授会は、第2項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項で「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 教授会の運営等に関しては、別に規程で定める。

第8章 賞罰

（表 彰）

第46条 他の模範とみなすに足る学生がある場合は、学長が表彰することができる。

（懲 戒）

第47条 本学の規則に違反し又は学生の本分に反する行為をした者は、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1） 性行不良で改善の見込がないと認められる者

（2） 学力劣等で成業の見込がないと認められる者

（3） 正当の理由がなくて出席常でない者

（4） 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 懲戒の手続きに関しては、この学則に定めるもののほか、別に学長裁定で定める。

第9章 科目等履修生、聴講生

（科目等履修生）

第48条 本学の学生以外の者で一又は複数の授業科目の履修を志願する者があったときは、選考のうえ科目等履修生として許可することがある。

2 科目等履修生が履修した授業科目について試験を受け合格したときは、所定の単位を与える。

3 科目等履修生に関しては、この学則に定めるもののほか、別に規程で定める。

（聴講生）

第49条 本学の一又は複数の授業科目の聴講を志願する者があったときは、選考のうえ聴講生として許可することがある。なお、聴講生に対しては試験を行わない。

2 聴講生に関しては、この学則に定めるもののほか、別に規程で定める。

第10章 図書館等

（図書館等）

第50条 本学に教職員及び学生の研究に資するため、図書館及び地域産業研究所を置く。

2 図書館及び地域産業研究所の運営等に関しては、別に規程で定める。

第11章 厚生保健施設

（厚生保健施設）

第51条 本学に、保健室その他厚生及び保健に関する諸施設を設ける。

第12章 公開講座

（公開講座）

第52条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第13章 雑 則

（学則の改廃）

第53条 この学則の改廃は、理事会の議を経て理事長が行う。

2 前項の規定に基づき改廃の決定をするときは、理事長は、あらかじめ学長の意見を聴くものとする。

3 前項の規定に基づき、学長が意見を述べようとするときは、あらかじめ大学運営会議及び教授会の意見を聴くものとする。

付 則

この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

付 則（昭和44年4月1日）

この学則は、昭和44年4月1日から施行する。

ただし、昭和43年度入学生については、第10条の規定に関わらず、なお従前の例による。

付 則（昭和45年4月1日）

この学則は、昭和45年4月1日から施行する。

付 則（昭和49年4月1日）

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

付 則（昭和 50 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 48 年度及びそれ以前の年度の入学生については、なお従前の例による

付 則（昭和 51 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（昭和 53 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（昭和 55 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 54 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる

付 則（昭和 57 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 56 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（昭和 59 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 58 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（昭和 61 年 4 月 1 日）

この学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 60 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成元年 4 月 1 日）

この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

ただし、昭和 63 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成 2 年 4 月 1 日）

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成元年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成 3 年 4 月 1 日）

この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 2 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成 4 年 4 月 1 日）

この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 3 年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成7年4月1日）

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

ただし、平成6年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成8年4月1日）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

ただし、平成7年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成10年5月30日）

この学則は、平成10年6月1日から施行する。

付 則（平成11年4月1日）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、平成10年度以前の入学者については、改正前の学則の定めるところによる。

付 則（平成12年4月1日）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則（平成14年7月27日）

この学則は、平成14年10月1日から施行する。

付 則（平成19年4月1日）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

付 則（平成20年3月29日）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

付 則（平成20年12月11日）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

付 則（平成21年7月18日）

この学則は、平成21年8月1日から施行する。

付 則（平成22年12月11日）

この学則は、平成22年12月12日から施行する。

付 則（平成23年7月23日）

この学則は、平成23年7月25日から施行する。

付 則（平成25年4月20日学則第1号）

この学則は、平成25年4月20日から施行する。

附 則（平成25年9月28日学則第2号）

この学則は、平成25年9月28日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 29 日学則第 1 号）

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 1 月 24 日学則第 1 号）

- 1 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前入学者については、別に学長裁定で定める場合を除き、入学時の学 則を適用する。
- 3 改正後の本則第 3 条の規定にかかわらず、商学部における平成 27 年度から平成 29 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学 科 名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
商 学 科	560	560	570
観光マネジメント学科	70	140	214
経 営 情 報 学 科	320	320	326
貿 易 ・ 観 光 学 科	240	160	80
合 計	1,190	1,180	1,190

注：貿易・観光学科の入学定員は、平成 27 年度観光マネジメント学科の設置により平成 26 年度までとする。

附 則（平成 27 年 7 月 18 日学則第 2 号）

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 2 月 20 日学則第 1 号）

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 2 月 18 日学則第 1 号）

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、改正後の本則第 11 条並びに第 9 条別表第 1、別表第 2 及び別表第 3 は、平成 27 年度以降の入学者（別表第 3 のフロンティアプログラムのスポーツマネジメント領域については、平成 29 年度以降の入学者）から適用する。

別表第1

商学部 商学科教育課程

授業科目の名称		配当 年次	単位数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
社 会 人 基 礎 力 プ ロ グ ラ ム	社会力基礎演習 1	1	2			
	社会力基礎演習 2	1	2			
	社会力基礎演習 3	2	2			
	社会力基礎演習 4	2	2			
	キャリア形成 1	1		2		
	キャリア形成 2	1		2		
	キャリア形成 3	2		2		
	キャリア形成 4	2		2		
	キャリア形成 5	3		2		
	キャリア形成 6	3		2		
	アカデミック・ジャパニーズ 1A	1		1		アカデミック・ジャパニーズ、ビジネスジャパ ニーズ、及び日本企業とビジネスキャリアは、 留学生対象の選択必修科目とする。
	アカデミック・ジャパニーズ 1B	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2A	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2B	1		1		
	ビジネスジャパニーズ 1A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 1B	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2B	2		1		
	日本企業とビジネスキャリア 1	3		2		
	日本企業とビジネスキャリア 2	3		2		
	English Current1A	1	1			
	English Current1B	1	1			
	English Current2A	1	1			
	English Current2B	1	1			
	English Current3A	2	1			
	English Current3B	2	1			
	English Current4A	2	1			
	English Current4B	2	1			
	English Current5A	3	1			
	English Current5B	3	1			
学 部 基 礎 プ ロ グ ラ ム	English Current6A	3	1			
	English Current6B	3	1			
	哲学	1			2	
	倫理学	1			2	
	日本史	1			2	
	西洋史	1			2	
	社会学	1			2	
	文化人類学	1			2	
	心理学	1			2	
	環境科学	1			2	
	数学	1			2	
	統計学	1			2	
	情報科学 1	1			2	
	情報科学 2	1			2	
	情報社会論	1			2	
	情報倫理	1			2	
	日本国憲法	1			2	
	文学	1			2	
	外国事情（仏語圏）	1			2	
	外国事情（スペイン語圏）	1			2	
	中国語 A	1		1	1	
	中国語 B	1			1	
	中国語会話 A	1			1	
	中国語会話 B	1			1	
	健康科学	1			2	
	スポーツ実習 1	1			1	
	スポーツ実習 2	1			1	
	コンピュータ活用 1	1			1	
	コンピュータ活用 2	1			1	
	異文化と国際理解 A	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 B	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 C	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 D	1			2	集中授業
	ボランティア活動演習	1			2	集中授業
	総合特論 A	1			2	
	総合特論 B	1			2	
	現代社会の諸問題 A	1			1	
	現代社会の諸問題 B	1			1	
	経営情報特論 A	1			2	集中授業
	経営情報特論 B	1			2	集中授業

学部 基礎 プログラム	専門 基礎	商学 1	1	2			
		商学 2	1	2			
		経営学 1	1			2	
		経営学 2	1			2	
		会計学 1	1			2	
		会計学 2	1			2	
		簿記論 1	1			2	
		簿記論 2	1			2	
		観光マネジメント 1	1			2	
		観光マネジメント 2	1			2	
		経営情報学 1	1			2	
		経営情報学 2	1			2	
		企業経営と情報システム 1	1			2	
		企業経営と情報システム 2	1			2	
		経済学 1	1			2	
		経済学 2	1			2	
		民法 1	1			2	
		民法 2	1			2	
		専門特論 A	1			2	
		専門特論 B	1			2	
専門 プログラム		マーケティング論 1	2			2	
		マーケティング論 2	2			2	
		流通論	2			2	
		ロジスティクス論	2			2	
		商品企画論	2			2	
		広告論	2			2	
		戦略的経営論 1	2			2	
		戦略的経営論 2	2			2	
		経営管理論	2			2	
		経営史	2			2	
		経営組織論	2			2	
		人的資源管理論	2			2	
		国際経済と貿易	2			2	
		国際マーケティング論	2			2	
		グローバルビジネス論	2			2	
		国際物流論	2			2	
		貿易実務演習	2			2	
		財務諸表論 1	2			2	
		財務諸表論 2	2			2	
		管理会計論 1	2			2	
		管理会計論 2	2			2	
		工業簿記 1	2			2	
		工業簿記 2	2			2	
		税務会計 1	2			2	
		税務会計 2	2			2	
		マクロ経済学	2			2	
		ミクロ経済学	2			2	
		経済政策	2			2	
		経済史	2			2	
		金融論	2			2	
		保険論	2			2	
		商法 1	2			2	
		商法 2	2			2	
		会社法 1	2			2	
		会社法 2	2			2	
		経営法学	2			2	
		企業インターンシップ A	2			2	
		企業インターンシップ B	2			2	
		職業指導 1	2			2	
		職業指導 2	2			2	
		学科特論(商)A	2			2	
		学科特論(商)B	2			2	
フロンティア プログラム	小売・流通 ビジネス 領域	小売・流通ビジネス研究	3		2		
		小売店舗運営と人材マネジメント	3		2		
		流通イノベーション研究	3・4		2		
		小売・流通企業の国際化	3・4		2		
	グローバル ビジネス 領域	貿易ビジネスの実務 1	3		2		
		貿易ビジネスの実務 2	3		2		
		海外進出プロジェクトの実際	3・4		2		
		グローバルアライアンスの実際	3・4		2		
	中小企業 経営 領域	中小企業の組織とマネジメント	3		2		
		中小企業経営者研究	3		2		
		中小企業の海外進出	3・4		2		
		中小企業経営とICT	3・4		2		

フロンティアプログラム	会計 分野	会計監査論 1	3		2		
		会計監査論 2	3		2		
		税法 1	3・4		2		
		税法 2	3・4		2		
	スポーツ 分野	スポーツマネジメント研究	3		2		
		スポーツマーケティング	3		2		
		スポーツ産業研究	3・4		2		
		スポーツによる地域振興	3・4		2		
	デザイン 分野	デザインマネジメント入門	3		2		
		商業施設デザイン研究	3		2		
		グラフィック&プロダクトデザイン研究	3・4		2		
		コミュニティデザイン研究	3・4		2		
課題研究プログラム		ゼミナール 1	2	2			ゼミナール 2～6 及びプロジェクト研究 A～E のうち、いずれか 10 単位を選択必修とする。
		ゼミナール 2	2		2		
		ゼミナール 3	3		2		
		ゼミナール 4	3		2		
		ゼミナール 5	4		2		
		ゼミナール 6	4		2		
		プロジェクト研究 A	2		2		
		プロジェクト研究 B	3		2		
		プロジェクト研究 C	3		2		
		プロジェクト研究 D	4		2		
		プロジェクト研究 E	4		2		

別表第2

商学部 観光マネジメント学科教育課程

授業科目の名称		配当 年次	単位数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
社 会 人 基 礎 力 プ ロ グ ラ ム	社会力基礎演習 1	1	2			
	社会力基礎演習 2	1	2			
	社会力基礎演習 3	2	2			
	社会力基礎演習 4	2	2			
	キャリア形成 1	1		2		
	キャリア形成 2	1		2		
	キャリア形成 3	2		2		
	キャリア形成 4	2		2		
	キャリア形成 5	3		2		
	キャリア形成 6	3		2		
	アカデミック・ジャパニーズ 1A	1		1		アカデミック・ジャパニーズ、ビジネスジャパニ ーズ、及び日本企業とビジネスキャリアは、留學 生対象の選択必修科目とする。
	アカデミック・ジャパニーズ 1B	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2A	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2B	1		1		
	ビジネスジャパニーズ 1A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 1B	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2B	2		1		
	日本企業とビジネスキャリア 1	3		2		
	日本企業とビジネスキャリア 2	3		2		
	English Current1A	1	1			
	English Current1B	1	1			
	English Current2A	1	1			
	English Current2B	1	1			
	English Current3A	2	1			
	English Current3B	2	1			
	English Current4A	2	1			
	English Current4B	2	1			
	English Current5A	3	1			
	English Current5B	3	1			
	English Current6A	3	1			
	English Current6B	3	1			
学 部 基 礎 プ ロ グ ラ ム	総合基礎					
	哲学	1			2	
	倫理学	1			2	
	日本史	1			2	
	西洋史	1			2	
	社会学	1			2	
	文化人類学	1			2	
	心理学	1			2	
	環境科学	1			2	
	数学	1			2	
	統計学	1			2	
	情報科学 1	1			2	
	情報科学 2	1			2	
	情報社会論	1			2	
	情報倫理	1			2	
	日本国憲法	1			2	
	文学	1			2	
	外国事情（仏語圏）	1			2	
	外国事情（スペイン語圏）	1			2	
	中国語 A	1			1	
	中国語 B	1			1	
	中国語会話 A	1			1	
	中国語会話 B	1			1	
	健康科学	1			2	
	スポーツ実習 1	1			1	
	スポーツ実習 2	1			1	
	コンピュータ活用 1	1			1	
	コンピュータ活用 2	1			1	
	異文化と国際理解 A	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 B	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 C	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 D	1			2	集中授業
	ボランティア活動演習	1			2	集中授業
	総合特論 A	1			2	
	総合特論 B	1			2	
	現代社会の諸問題 A	1			1	
	現代社会の諸問題 B	1			1	
	経営情報特論 A	1			2	集中授業
	経営情報特論 B	1			2	集中授業

学部 基礎 プログラム	専門 基礎	観光マネジメント 1	1	2			
		観光マネジメント 2	1	2			
		商学 1	1			2	
		商学 2	1			2	
		経営学 1	1			2	
		経営学 2	1			2	
		会計学 1	1			2	
		会計学 2	1			2	
		簿記論 1	1			2	
		簿記論 2	1			2	
		経営情報学 1	1			2	
		経営情報学 2	1			2	
		企業経営と情報システム 1	1			2	
		企業経営と情報システム 2	1			2	
		経済学 1	1			2	
		経済学 2	1			2	
		民法 1	1			2	
		民法 2	1			2	
		専門特論 A	1			2	
		専門特論 B	1			2	
専門 プログラム		国際ホテルのマネジメント	2			2	
		現代の観光交通ビジネス	2			2	
		現代の旅行業ビジネス	2			2	
		現代の観光物販ビジネス	2			2	
		観光まちづくりのデザイン	2			2	
		観光調査とフィールドワーク	2			2	
		日本の観光資源	2			2	
		世界の観光資源	2			2	
		観光市場の動向と展望	2			2	
		世界のツーリズム	2			2	
		観光マーケティング	2			2	
		観光事業と環境	2			2	
		ホスピタリティ論	2			2	
		M I C E 論	2			2	
		観光文化論	2			2	
		観光英語演習	2			2	
		観光旅館のマネジメント	2			2	
		観光ホスピタリティ実務演習	2			2	
		ホスピタリティマネジメント	2			2	
		観光法規とリスクマネジメント	2			2	
		横浜中華街の世界	2			2	
		横浜・野毛の商いと文化	2			2	
		企業インターンシップ A	2			2	集中授業
		企業インターンシップ B	2			2	集中授業
		学科特論(観)A	2			2	
		学科特論(観)B	2			2	
		観光概論	2			4	
フロンティア プログラム	観光 ビジネス 領域	ホテルの商品開発研究	3		2		
		料飲ビジネス研究	3		2		
		旅行商品の開発研究	3・4		2		
		空港経営と航空ビジネス研究	3・4		2		
	観光 マーケティング 領域	エンターテインメントビジネス研究	3		2		
		ホスピタリティ人材育成研究	3		2		
		観光メディア研究	3・4		2		
	国際 イベント・M I C E 領域	ホテル・旅館の運営と女性	3・4		2		
		国際的M I C Eの誘致・運営研究	3		2		
		世界のリゾート開発・運営研究	3		2		
		イベント企画・運営研究	3・4		2		
		国際文化交流研究	3・4		2		
	まち づくり 領域	まちづくり活動実践の研究	3		2		
		アートによる地域振興	3		2		
		まちづくりの手法と政策	3・4		2		
		スポーツによる地域振興	3・4		2		
	スポーツ マネジメント 領域	スポーツマネジメント研究	3		2		
		スポーツマーケティング	3		2		
		スポーツ産業研究	3・4		2		
		スポーツによる地域振興	3・4		2		

課題研究プログラム	ゼミナール 1	2	2			ゼミナール 2～6 及びプロジェクト研究 A～E のうち、いずれか 10 単位を選択必修とする。
	ゼミナール 2	2		2		
	ゼミナール 3	3		2		
	ゼミナール 4	3		2		
	ゼミナール 5	4		2		
	ゼミナール 6	4		2		
	プロジェクト研究 A	2		2		
	プロジェクト研究 B	3		2		
	プロジェクト研究 C	3		2		
	プロジェクト研究 D	4		2		
	プロジェクト研究 E	4		2		

別表第3
商学部 経営情報学科教育課程

授業科目の名称		配当 年次	単位数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
社 会 人 基 礎 力 プ ロ グ ラ ム	社会力基礎演習 1	1	2			
	社会力基礎演習 2	1	2			
	社会力基礎演習 3	2	2			
	社会力基礎演習 4	2	2			
	キャリア形成 1	1		2		
	キャリア形成 2	1		2		
	キャリア形成 3	2		2		
	キャリア形成 4	2		2		
	キャリア形成 5	3		2		
	キャリア形成 6	3		2		
	アカデミック・ジャパニーズ 1A	1		1		アカデミック・ジャパニーズ、ビジネスジャパニ ーズ、及び日本企業とビジネスキャリアは、留學 生対象の選択必修科目とする。
	アカデミック・ジャパニーズ 1B	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2A	1		1		
	アカデミック・ジャパニーズ 2B	1		1		
	ビジネスジャパニーズ 1A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 1B	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2A	2		1		
	ビジネスジャパニーズ 2B	2		1		
	日本企業とビジネスキャリア 1	3		2		
	日本企業とビジネスキャリア 2	3		2		
	English Current1A	1	1			
	English Current1B	1	1			
	English Current2A	1	1			
	English Current2B	1	1			
	English Current3A	2	1			
	English Current3B	2	1			
	English Current4A	2	1			
	English Current4B	2	1			
	English Current5A	3	1			
	English Current5B	3	1			
	English Current6A	3	1			
	English Current6B	3	1			
学 部 基 礎 プ ロ グ ラ ム	総 合 基 礎	哲学	1		2	
	倫理学	1			2	
	日本史	1			2	
	西洋史	1			2	
	社会学	1			2	
	文化人類学	1			2	
	心理学	1			2	
	環境科学	1			2	
	数学	1			2	
	統計学	1			2	
	情報科学 1	1			2	
	情報科学 2	1			2	
	情報社会論	1			2	
	情報倫理	1			2	
	日本国憲法	1			2	
	文学	1			2	
	外国事情（仏語圏）	1			2	
	外国事情（スペイン語圏）	1			2	
	中国語 A	1		1		
	中国語 B	1		1		
	中国語会話 A	1		1		
	中国語会話 B	1		1		
	健康科学	1			2	
	スポーツ実習 1	1			1	
	スポーツ実習 2	1			1	
	コンピュータ活用 1	1			1	
	コンピュータ活用 2	1			1	
	異文化と国際理解 A	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 B	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 C	1			4	集中授業
	異文化と国際理解 D	1			2	集中授業
	ボランティア活動演習	1			2	集中授業
	総合特論 A	1			2	
	総合特論 B	1			2	
	現代社会の諸問題 A	1			1	
	現代社会の諸問題 B	1			1	
	経営情報特論 A	1			2	集中授業
	経営情報特論 B	1			2	集中授業

学部 基礎 プログラム	専門 基礎	経営情報学 1	1	2			
		経営情報学 2	1	2			
		商学 1	1			2	
		商学 2	1			2	
		経営学 1	1			2	
		経営学 2	1			2	
		会計学 1	1			2	
		会計学 2	1			2	
		簿記論 1	1			2	
		簿記論 2	1			2	
		観光マネジメント 1	1			2	
		観光マネジメント 2	1			2	
		企業経営と情報システム 1	1			2	
		企業経営と情報システム 2	1			2	
		経済学 1	1			2	
		経済学 2	1			2	
		民法 1	1			2	
		民法 2	1			2	
		専門特論 A	1			2	
		専門特論 B	1			2	
専門 プログラム		ネットワークとコミュニケーション 1	2			2	
		ネットワークとコミュニケーション 2	2			2	
		I Tとデザイン 1	2			2	
		I Tとデザイン 2	2			2	
		データベースの活用 1	2			2	
		データベースの活用 2	2			2	
		情報システムとプログラミング 1	2			2	
		情報システムとプログラミング 2	2			2	
		情報システムとプログラミング 3	2			2	
		情報システムとプログラミング 4	2			2	
		情報システムの設計 1	2			2	
		情報システムの設計 2	2			2	
		ビジネスのしくみと実践	2			2	
		情報システムの活用と実践	2			2	
		情報セキュリティ	2			2	
		情報社会と I T 業界	2			2	
		戦略的経営論 1	2			2	
		戦略的経営論 2	2			2	
		経営管理論	2			2	
		経営史	2			2	
		経営組織論	2			2	
		人的資源管理	2			2	
		マクロ経済学	2			2	
		ミクロ経済学	2			2	
		企業インターンシップ A	2			2	集中授業
		企業インターンシップ B	2			2	集中授業
		職業指導 1	2			2	
		職業指導 2	2			2	
		学科特論(経)A	2			2	
		学科特論(経)B	2			2	
フロンティア プログラム	情報 マネジメント 領域	モバイル時代の I T 活用	3			2	
		経営と I T の実際	3			2	
		意思決定と情報	3・4			2	
		電子商取引の実際	3・4			2	
	情報 システム 開発 領域	情報システム開発研究 1	3			2	
		情報システム開発研究 2	3			2	
		インターネット技術研究	3・4			2	
		情報システム開発の実際	3・4			2	
	Web システム 開発 領域	マルチメディア論	3			2	
		インターネットビジネスの実際	3			2	
		インターネット技術研究	3・4			2	
		電子商取引の実際	3・4			2	
	中小 企業 経営 領域	中小企業の組織とマネジメント	3			2	
		中小企業経営者研究	3			2	
		中小企業の海外進出	3・4			2	
		中小企業経営と I C T	3・4			2	
	デザ イン メン トマ 領域	デザインマネジメント入門	3			2	
		商業施設デザイン研究	3			2	
		グラフィック&プロダクトデザイン研究	3・4			2	
		コミュニティデザイン研究	3・4			2	
	スポ ーツ ネ ー ボ ー リ ン グ 領域	スポーツマネジメント研究	3			2	
		スポーツマーケティング	3			2	
		スポーツ産業研究	3・4			2	
		スポーツによる地域振興	3・4			2	

課題研究プログラム	ゼミナール 1	2	2			ゼミナール 2～6 及びプロジェクト研究 A～E のうち、いずれか 10 単位を選択必修とする。
	ゼミナール 2	2		2		
	ゼミナール 3	3		2		
	ゼミナール 4	3		2		
	ゼミナール 5	4		2		
	ゼミナール 6	4		2		
	プロジェクト研究 A	2		2		
	プロジェクト研究 B	3		2		
	プロジェクト研究 C	3		2		
	プロジェクト研究 D	4		2		
	プロジェクト研究 E	4		2		

別表第4 教職に関する科目

(1) 教科に関する科目

ア 「商業」の教科に関する科目と修得単位数

	授業科目	商学科		経営情報学科		備考
		科目	単位	科目	単位	
商業の 関係科目 (一年次以上)	社会学			○	2	学部基礎プログラム・総合基礎
	商学1	○	2	○	2	
	商学2	○	2	○	2	学部基礎プログラム・専門基礎
	経営学1	○	2	○	2	
	経営学2	○	2	○	2	
	会計学1	○	2	○	2	
	会計学2	○	2	○	2	
	簿記論1	○	2	○	2	
	簿記論2	○	2	○	2	
	経営情報学1	○	2			
	経営情報学2	○	2			
	経済学1	○	2	○	2	
	経済学2	○	2	○	2	
	民法1	○	2	○	2	
	民法2	○	2	○	2	
商業の 関係科目 (二年次以上)	マーケティング論1	○	2			専門プログラム
	マーケティング論2	○	2			
	商品企画論	○	2			
	戦略的経営論1	○	2	○	2	
	戦略的経営論2	○	2	○	2	
	経営管理論	○	2	○	2	
	経営史	○	2	○	2	
	経営組織論	○	2	○	2	
	人的資源管理論	○	2	○	2	
	国際経済と貿易	○	2			
	財務諸表論1	○	2			
	財務諸表論2	○	2			
	工業簿記1	○	2			
	工業簿記2	○	2			
	税務会計1	○	2			
	税務会計2	○	2			
	マクロ経済学	○	2	○	2	
	ミクロ経済学	○	2	○	2	
	金融論	○	2			
	保険論	○	2			
	商法1	○	2			
	商法2	○	2			
	会社法1	○	2			
	会社法2	○	2			
商業の 関係科目 (三年次以上)	貿易ビジネスの実務1	○	2			フロンティアプログラム
	貿易ビジネスの実務2	○	2			
	中小企業の組織とマネジメント	○	2	○	2	
	中小企業経営とICT	○	2	○	2	
	会計監査論1	○	2			
	会計監査論2	○	2			
	税法1	○	2			
	税法2	○	2			
職業指導	職業指導1	○	2	○	2	専門プログラム
	職業指導2	○	2	○	2	

別表第4 教職に関する科目

(1) 教科に関する科目

イ 「情報」の教科に関する科目と修得単位数

「情報」の教科に関する科目と修得単位数							
経 営 情 報 学 科							
欄	教育職員免許法施行規則に定める規則	区 分	授業科目	単位	年次	最低修得 単位数	必修 科目
1	情報社会及び情報倫理	学部基礎プログラム・総合基礎	情報科学 1	2	1	4	
			情報科学 2	2	1		
			情報社会論	2	1		○
			情報倫理	2	1		○
		学部基礎プログラム・専門基礎	企業経営と情報システム 1	2	1		
			企業経営と情報システム 2	2	1		
2	コンピュータ及び情報処理(実習を含む)	学部基礎プログラム・専門基礎	経営情報学 1	2	1	12	○
			経営情報学 2	2	1		○
		経営情報学科専門プログラム	情報システムとプログラミング 1	2	2		○
			情報システムとプログラミング 2	2	2		○
			情報システムとプログラミング 3	2	2		○
			情報システムとプログラミング 4	2	2		○
3	情報システム(実習を含む)	経営情報学科専門プログラム	情報システムの設計 1	2	2	8	○
			情報システムの設計 2	2	2		○
			データベースの活用 1	2	2		○
			データベースの活用 2	2	2		○
			ビジネスのしくみと実践	2	2		○
			情報システムの活用と実践	2	2		○
4	情報通信ネットワーク(実習を含む)	経営情報学科専門プログラム	ネットワークとコミュニケーション 1	2	2	8	○
			ネットワークとコミュニケーション 2	2	2		○
			情報セキュリティ	2	2		
		経営情報学科フロンティアプログラム	インターネット技術研究	2	2		○
			電子商取引の実践	2	2		○
5	マルチメディア表現及び技術(実習を含む)	経営情報学科専門プログラム	I Tとデザイン 1	2	2	6	○
			I Tとデザイン 2	2	2		○
		経営情報学科フロンティアプログラム	マルチメディア論	2	2		○
6	情報と職業	経営情報学科専門プログラム	情報社会と I T 業界	2	2	4	○
		経営情報学科フロンティアプログラム	インターネットビジネスの実践	2	2		○
1～6 系列より、1 科目 2 単位以上充足する。						2	
単位合計						48	
単位合計は「教科又は教職に関する科目」の 16 単位を含む。							

別表第4 教職に関する科目
(2)教職に関する科目

教職に関する科目		左項の各科目に含めることが必要な事項	高等学校教諭第一種免許状			
			開設授業科目	履修 学年	単位	最低習 得 単位数
教職の意義等に関する設定	教職の意義及び教員の役割	○教師論	2	2	2	
	教員の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む)					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教職の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに 教育に関する歴史及び思想	○教育原論Ⅰ	2	2	6	
	幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の過程を含む。)	○教育心理学 △青年心理学	2 2	2 2		
	教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項	○教育原論Ⅱ	2	2		
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	○商業課教育法 ※1 ○情報科教育論 ※2 ○情報科教育法 ※2	3 3 3	4 2 2	8～12	
	教育課程の意義及び編成の方法	○特別活動論	2	2		
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○教育方法論	2	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	○生徒指導論	2	2	4	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	○教育相談	2	2		
教 育 実 習		○教育実習講義	3	3	3	
		○教育実習	4			
教 職 実 践 演 習		○教職実践演習(高)	4	2	2	
計					31	25～29

○印は必修科目、△印は選択科目を示す。 ※1は「商業」の必修、※2は「情報」の必修を示す。

経営情報学科で2教科の免許状「商業」及び「情報」を取得するときは、各教科の指導法（教科教育法）をそれぞれ修得しなければならない。

教科又は教職に関する科目

	単位数		備 考
	必修	選択	
道徳教育の研究		2	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について併せて16単位以上修得する。

別表第5

春学期入学者学費

勘定科目	第1年次			第2.3.4年次		
	年額全納	学期別分納		年額全納	学期別分納	
		春学期	秋学期		春学期	秋学期
入学金	300,000					
授業料	700,000	350,000	350,000	700,000	350,000	350,000
施設設備費	195,000	97,500	97,500	195,000	97,500	97,500
教育充実費	69,000	34,500	34,500	69,000	34,500	34,500
計	964,000	482,000	482,000	964,000	482,000	482,000
合 計	1,264,000	782,000	482,000	964,000	482,000	482,000

なお、編入学者の入学金は 150,000 円とする。

秋学期入学者学費

勘定科目	第1年次			第2.3.4年次		
	年額全納	学期別分納		年額全納	学期別分納	
		秋学期	春学期		秋学期	春学期
入学金	300,000					
授業料	700,000	350,000	350,000	700,000	350,000	350,000
施設設備費	195,000	97,500	97,500	195,000	97,500	97,500
教育充実費	69,000	34,500	34,500	69,000	34,500	34,500
計	964,000	482,000	482,000	964,000	482,000	482,000
合 計	1,264,000	782,000	482,000	964,000	482,000	482,000

なお、編入学者の入学金は 150,000 円とする。